

# 日本体力医学会特別大会 – 2023東京シンポジウム–のご案内（第1報）

日本体力医学会特別大会 – 2023東京シンポジウム–を下記の通り東京都新宿区において開催いたします。

全国から多くの会員の皆さまのご参加を心からお待ちしております。

なお、学会の最新情報は日本体力医学会特別大会 – 2023東京シンポジウム–ウェブサイト（11月下旬公開予定）をご覧ください。学会の最新情報は順次アップしていきます。

## 記

1. 会 期：令和5年9月17日(日)
2. 会 場：早稲田大学大隈記念講堂（早稲田キャンパス）  
（〒169-0071 東京都新宿区戸塚町1-104）
3. 大 会 長：鈴木 政登（一般社団法人日本体力医学会 理事長）
4. 大会事務局：早稲田大学スポーツ科学学術院内  
日本体力医学会特別大会 – 2023東京シンポジウム–事務局  
事務局長 前田 清司（早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）  
〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15
5. 運営事務局：株式会社JTB 茨城南支店内  
日本体力医学会特別大会運営デスク  
〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-2-4 第2・ISSEIビル302  
TEL：029-860-2872 FAX：029-854-1664  
E-mail：mice-tsukuba@jtb.com
6. 大会プログラム（予定）
  - （1）シンポジウム
  - （2）学会賞受賞講演
  - （3）その他

注1）シンポジウム演題等は会員の皆様から公募する予定です。詳細については、第2報でお知らせする予定です。

# 第77回日本体力医学会大会（栃木）を終えて



第77回日本体力医学会大会大会長  
獨協医科大学副学長/医学部公衆衛生学講座教授

小橋 元

第77回日本体力医学会大会（栃木大会）におきましては、皆様の多大なご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。本大会は2022年9月21日（水）、22日（木）、23日（金）の3日間、オンラインにて開催されました。また、大会の様子は10月20日までオンデマンド配信させていただきました。

久しぶりの現地開催にむけて準備を整えておりましたが、コロナ流行第7波の影響で、急遽7月末にオンライン開催への変更を余儀なくされました。オンラインの準備をしながら、昨年、一昨年の大会も大変な思いをされながら、頑張ってやり遂げられたのだなあ…とつくづく敬服いたしました。

今回は急な変更にもかかわらず、様々ご対応くださいました鈴木理事長をはじめ、理事会、学会事務局の皆様、そしてお忙しい中、オンライン参加下さいました会員、非会員を含む多くの皆様に、この場をお借りして心より御礼を申し上げます。

さて、本学術大会は、メインテーマを「新時代の体力医学～人々の健康と安全を守るために～」といたしました。学会員ではない私が、新時代などと偉そうに言える立場ではないのですが、現在は、働き盛り世代の肥満・糖尿病および動脈硬化性疾患予防、加齢に伴うロコモティブ・シンдрロームや認知症の予防と、体力医学の扱う範囲は多岐にわたっています。

また、「こころ」は身体に健康に密接に関わることから、体力医学を議論する際にも外せない要素です。「こころ」は、たとえば過労死・過労自殺や、大規模災害やパンデミック発生時のうつ病、差別やいじめ児童虐待などのように、全ての人々の小児期から老齢期までの全ライフステージ、妊娠・子育て等のリプロダクションの問題にも大きく関わります。

今、始まりつつある新しい社会（「Society 5.0」：AI、高速通信、ロボット、ビッグデータなどの技術が創り出す社会）においても、これらの課題を解決して、全ての人々の心身両面の健康を目指していかねばならないと考えたのです。

私が講座の同門・先輩として敬愛する宇都宮大学小宮秀明教授から、栃木国体開催に合わせて、今回の大会担当のお話をいただいたのが、ちょうどコロナが始まる前年の2019年10月でした。その時はまさかその半年後に新型コロナウイルス感染症の世界的大流行が起こり、こんな「新時代」が来るとは思いもしませんでした。これはまったくの偶然でしたが、良くも悪くもこれから新時代に突入するという意味でも、時機を得たテーマが設定できたのではないかと思います。大会の準備を進めながら、この機会に、人々の健康と未来を守る体力医学の役割を会員とともに再認識し、ピンチをチャンスに変えるきっかけに出来ればと強く思いました。

2020年の第75回の鹿児島大会、2021年の第76回の三重大会はともにオンライン開催となり

ましたが、今年で新型コロナの流行も3年目に入り、さすがに今回こそは久々の現地開催が出来るだろうと楽しみにしていました。ぜひ皆さんに宇都宮の餃子と美味しいカクテル、そして日光国立公園などの栃木観光をお楽しみいただき、大会以外の場でも有意義な時間を過ごしていただけたらと思っておりましたが、コロナには勝てず、まさに断腸の思いでした。

本大会では、開催まで2か月弱と差し迫った中でのオンライン開催への切り替えにもかかわらず、大会参加者1325名と多くの方々にご出席・ご視聴をいただきました。また一般研究発表登録数も合計678演題と多数の会員の方々に演題をご登録いただきました。心より感謝を申し上げます。

一般演題以外のプログラムにつきましては、市民公開特別講演として東北大学大学院医学系研究科の出澤真理教授に「体に内在する多能性修復幹細胞 Muse 細胞のもたらす医療変革」をお話しいただき、また市民公開シンポジウムとして、人間総合科学大学人間科学部の白石弘美先生に「肥満予防・改善に役立つ食事」、獨協医科大学基本医学基盤教育部門の枝伸彦先生に「ウォーキング・ヨガによる肥満改善・健康増進」、筑波大学附属病院総合診療科の加藤士郎先生に「漢方で肥満と痩せを予防して体力アップ」、そして、岩室紳也先生に「ウィズコロナ時代だからこそ『人とつながる』健康づくりで肥満解消を」との題名でそれぞれお話しいただき討論をお願いしました。

また、教育講演としては（獨協医科大学内科学（心臓・血管））の豊田茂教授に「突然死と循環器疾患 ～臨床経験を通して～」、同じく獨協医科大学整形外科学・病院スポーツ医学センター長の種市洋教授に「成人脊柱変形の病態と治療戦略」をお話しいただきました。さらに共催セミナーとして慶應義塾大学の小熊祐子先生に「地域における運動・スポーツと医療との連携」、立命館大学スポーツ健康科学部の家光素行先生に「習慣的なクロレラ摂取と運動の併用における抗糖尿病効果と作用機序」、高倉久志先生には「地域在住高齢者を対象としたコグニサイズの実施とクロレラ摂取が認知機能に及ぼす影響」の演題名でご講演いただきました。また私も大会長講演として「新時代の体力医学 ～人々の健康と未来を守るために～」と題してお話しさせていただきました。32セッションに及ぶ公募シンポジウムは、現場開催に近い情報交換の場を設けたいとの意図から質疑応答をライブ配信で行いました。オンライン開催であったにもかかわらず、活発かつ密度の濃い討議が行われたと思います。

本大会も、鹿児島大会、三重大会に引き続きオンライン開催となってしまったことは残念ではありますが、両大会のバトンを受け継ぎ、新しい時代の学会の幅広い在り方を考えるきっかけを作れたのではないのでしょうか。

大会の準備・運営に大変親身にサポート下さいました株式会社ライトスタッフ様、当日のオンライン開催を取り仕切って下さいましたソウブン・ドットコム様、大会特設ホームページの整備を快くお引き受け下さいましたプラン・ドゥー様、抄録作成にご尽力頂きました鶴岡印刷様、大会の準備にご協力いただいた学術企画WG皆様、大会の開催を温かく支えて下さいました名誉大会長、名誉顧問、副大会長をはじめ、事務局および大会関係者の皆様に深謝いたします。

最後に、手前味噌ではありますが、新型コロナウイルス感染症第7波による急遽オンライン開催という大変な状況下で、獅子奮迅の活躍で本大会を成功に導いてくれた事務局長の春山康夫教授に心からの感謝をいたします。

# 一般社団法人 日本体力医学会 定款

## 第1章 総 則

### (名 称)

第1条 この法人は、一般社団法人日本体力医学会と称する。英語名は、The Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicineと表示する。

### (事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都文京区に置く。

2 この法人は、理事会の決議により、従たる事務所を必要な地に設置することができる。

### (地方会)

第3条 この法人は、社員総会の議決を経て、地方会を置くことができる。

2 地方会の組織及び運営に関し必要な規定は、理事会において定める。

## 第2章 目的及び事業

### (目 的)

第4条 この法人は、日本国内外における体力ならびにスポーツ医科学に関する研究の進歩、発展を促進し、研究の連絡協力を図るとともに、その成果の活用をはかり、もって我が国の学術の発展に寄与することを目的とする。

### (事 業)

第5条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 体力医学に関する学術講演会などの開催
- (2) 機関誌その他の刊行物の発行
- (3) この法人が関係する内外の関連団体との連絡及び協力
- (4) 研修会の実施と称号の授与
- (5) 体力医学の振興ならびに、普及、啓発
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### (学術講演会)

第6条 学術講演会は、毎年1回以上開いて会員の業績を発表する。

2 国民体育大会行事の一環として行われる学術講演会は、この法人の学会大会として、原則として国民体育大会の開催地で行われる。

## 第3章 会 員

### (法人の構成員)

第7条 この法人の会員は、次の4種とする。

- (1) 正 会 員 体力医学に関する学識経験を有し、この法人の目的に賛同して入会した個人
- (2) 名 誉 会 員 この法人の発展に関して学術上の功績が特に著名な者で、理事会が推薦し社員総会で承認された個人
- (3) シニア会員 名誉会員に準ずる会員で、別に定める要件を満たした会員からの申請により理事会で承認された個人
- (4) 賛 助 会 員 この法人の事業を賛助するために入会した団体

2 この法人は、正会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般社団・財団法人法」という。）上の社員とする。

### (入 会)

第8条 この法人の会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申込みをし、その承認を受けなければならない。

### (経費の負担)

第9条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、毎年、会員は、社員総会において別に定める額の会費を支払う義務を負う。ただし、名誉会員はこの限りでない。

2 既納の会費は、いかなる場合でも返還しない。

### (任意退会)

第10条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

### (除 名)

第11条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、社員総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき.
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき.
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき.

#### (会員資格の喪失)

第12条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第9条の支払義務を2年以上履行しなかったとき.
- (2) 総正会員が同意したとき.
- (3) 当該会員が死亡し、又は解散したとき.

## 第4章 社員総会

### (構成)

第13条 社員総会は、すべての正会員をもって構成する。

### (権限)

第14条 社員総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 理事及び監事の報酬等の額
- (4) 事業報告及び貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）等の承認
- (5) 会費の額
- (6) 理事会で付議したもの
- (7) 定款の変更
- (8) 解散及び残余財産の処分
- (9) その他社員総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

### (開催)

第15条 社員総会は、定時社員総会として毎事業年度終了後3箇月以内に開催するほか、必要がある場合に臨時社員総会を開催する。

### (招集)

第16条 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 総正会員の議決権の5分の1以上の議決権を有する正会員は、理事長に対し、社員総会の目的である事項及び招集の理由を示して、社員総会の招集を請求することができる。

### (議長)

第17条 社員総会の議長は、理事長がこれにあたる。

### (議決権)

第18条 社員総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

### (決議)

第19条 社員総会の決議は、出席した正会員の議決権の過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行う。
  - (1) 会員の除名
  - (2) 監事の解任
  - (3) 定款の変更
  - (4) 解散
  - (5) その他法令で定められた事項
- 3 社員総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面もしくは電磁的方法をもって議決権を行使し、又は他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができる。
- 4 前項の場合における第1項、第2項の規定の適用については、その正会員は出席したものとみなす。

### (議事録)

第20条 社員総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

## 第5章 役員等

### (役員の設定)

第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 20名以上25名以内
- (2) 監事 4名以内

- 2 理事のうち1名を理事長、2名を副理事長、1名を常務理事とする。
- 3 理事長を一般社団・財団法人法上の代表理事とし、副理事長及び常務理事を業務執行理事とする。

#### (役員を選任)

第22条 理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。

- 2 理事長、副理事長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 3 監事は、この法人又はその子法人の理事又は使用人を兼ねることができない。
- 4 役員を選出についての細則は別に定める。

#### (理事の職務及び権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。
- 3 副理事長及び常務理事は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人の業務を分担執行し、理事長に事故があるときは、あらかじめ理事会で定めた順序により、その職務を代行する。
- 4 理事長、副理事長及び常務理事は、3箇月に1回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

#### (監事の職務及び権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

#### (役員任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。なお、再任は妨げない。

- 2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。なお、再任は妨げない。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

#### (役員解任)

第26条 理事及び監事は、社員総会の決議によって解任することができる。

#### (役員報酬等)

第27条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、社員総会において定める総額の範囲内で、社員総会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

## 第6章 理事会

### (構成)

第28条 この法人に理事会を置く。

- 2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

### (権限)

第29条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長、副理事長及び常務理事の選定及び解職
- (4) 社員総会に付議すべき事項の決定
- (5) 細則及び規則類の制定、同改廃の決定

### (招集)

第30条 理事会は、理事長が招集する。

### (議長)

第31条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

### (決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定に関わらず、理事が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることができる理事の全員が書面・メール又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。但し、監事が異議を述べ

たときは、その限りではない。

(議事録)

第33条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第7章 評議員及び評議員会

(評議員)

第34条 この法人に、評議員を置く。

2 評議員は、理事会で選任する。

3 評議員は、評議員会を構成し、理事会の諮問に応じ、意見を述べることができる。

4 評議員の互選により、評議員会長を置く。

(評議員会)

第35条 評議員会は、毎事業年度に一回開催するほか、必要がある場合に開催する。

2 評議員会は、評議員会長が招集する。

3 評議員会の議長は、評議員会長とする。

4 評議員会は、理事会の諮問に応じ、第14条に定める社員総会の決議事項のほか、この法人の運営全般について意見を述べるができる。

5 評議員会の決議は、評議員現在数の過半数が出席し、出席した当該評議員の過半数をもって行う。

## 第8章 資産及び会計

(事業年度)

第36条 この法人の事業年度は、毎年8月1日に始まり翌年7月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第37条 この法人の事業計画書、収支予算書については、毎事業年度の開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所（及び従たる事務所）に、当該事業年度が終了するまでの間備え置くものとする。

3 第1項で承認された事業計画・収支予算は直近の社員総会に報告しなければならない。

(事業報告及び決算)

第38条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経て、定時社員総会に提出し、第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第5号までの書類については承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 損益計算書（正味財産増減計算書）

(5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書

2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間（また、従たる事務所に3年間）備え置くものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事の名簿

(剰余金の分配)

第39条 この法人は、剰余金の分配は行わない。

## 第9章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第40条 この定款は、社員総会の決議によって変更することができる。

(解 散)

第41条 この法人は、社員総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第42条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、社員総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第10章 公告の方法

(公告の方法)

第43条 この法人の公告は、この法人の主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

## 第11章 事務局

### (事務局の設置等)

第44条 この法人の事務を処理するために、事務局を設置する。

- 2 事務局には、所要の職員を置く。
- 3 職員は、理事長が理事会の承認を得て任免する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により理事長が別に定める。

## 第12章 補 則

### (委 任)

第45条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に関する事項は、理事会の決議により別に定める。ただし、この定款の施行についての細則は、理事会及び社員総会の決議を経て、別に定める。

## 附 則

- 1 この法人は、その主たる事務所の所在地において設立の登記をすることにより成立する。
- 2 任意団体の日本体力医学会の正会員、名誉会員、賛助会員であって、第7条に規定する正会員、賛助会員の資格を有する者及び団体は、第8条の規定にかかわらずこの法人成立の日にこの法人に入会したものとみなす。
- 3 任意団体の日本体力医学会の評議員は、この法人成立の日にこの法人の評議員に選任されたものとみなす。
- 4 この法人の最初の理事の任期は、平成27年開催予定の定時社員総会終結の時までとする。
- 5 第7条第2項の規定にかかわらず、この法人の設立時社員は、次のとおりとする。

設 立 時 社 員 (住所記載省略)

下 光 輝 一

設 立 時 社 員 (住所記載省略)

小 野 寺 昇

- 6 この法人の設立時役員は、次のとおりとする。

設 立 時 理 事 荒 尾 孝

設 立 時 理 事 碓 井 外 幸

設 立 時 理 事 大 野 誠

設 立 時 理 事 小 野 寺 昇

設 立 時 理 事 勝 村 俊 仁

設 立 時 理 事 川 久 保 清

設 立 時 理 事 川 原 貴

設 立 時 理 事 栗 原 敏

設 立 時 理 事 坂 本 静 男

設 立 時 理 事 定 本 朋 子

設 立 時 理 事 下 光 輝 一

設 立 時 理 事 下 村 吉 治

設 立 時 理 事 鈴 木 政 登

設 立 時 理 事 武 政 徹

設 立 時 理 事 竹 森 重

設 立 時 理 事 田 中 喜 代 次

設 立 時 理 事 田 中 宏 暁

設 立 時 理 事 田 畑 泉

設 立 時 理 事 鳥 居 俊

設 立 時 理 事 永 富 良 一

設 立 時 理 事 西 平 賀 昭

設 立 時 理 事 浜 岡 隆 文

設 立 時 理 事 福 永 哲 夫

設 立 時 理 事 山 内 秀 樹

設 立 時 理 事 吉 岡 利 忠

設 立 時 代 表 理 事 下 光 輝 一

設 立 時 監 事 小 林 康 孝

設 立 時 監 事 能 勢 博



# 一般社団法人 日本体力医学会 定款施行細則

## 第1章 通 則

第1条 一般社団法人日本体力医学会定款第45条に基づき、会員、役員及び評議員の選出、委員会、学術集会等に関する諸規程を設ける。

## 第2章 会 員

第2条 この法人の会費は、次のとおりとする。

- (1) 正 会 員 年額 10,000円
- (2) シニア会員 年額 5,000円
- (3) 賛 助 会 員 年額 1口以上（1口50,000円）

2 会費は年度末までにそれぞれ納入しなければならない。

3 正会員、シニア会員ならびに名誉会員は、学術講演会及び機関誌に業績を発表することができ、また、機関誌等の頒布を受けるものとする。

4 賛助会員は、機関誌の頒布を受けるものとする。

第3条 シニア会員の認定は、本人の申請により理事会で行う。

2 シニア会員の認定を受ける正会員は、次のいずれも満たす者とする。

- (1) シニア会員を申し込むときの年齢が満70歳以上であること。
- (2) 日本体力医学会の正会員歴20年以上であること。

3. シニア会員の認定を受けた者は、評議員の資格を喪失する。

## 第3章 評議員の選出等

第4条 評議員の選出は、推薦された評議員候補のうちから選考委員会の議を経て、評議員会で選任する。

2 評議員の選出に必要な事項は、別に「評議員選考内規」に定める。

## 第4章 理事候補、評議員会長候補及び監事候補の選出等

第5条 理事候補者、評議員会長候補者及び監事候補者は、別に定める「選挙管理規程」に従い、4年毎に評議員の選挙によって選出する。

2 理事については、定款の規定により任期満了となる選任2年後の社員総会において、理事再任の承認を得ることにより、在任期間を4年とする。

## 第5章 委 員 会

第6条 この法人にその事業遂行のために、次の常設委員会を置く。

- (1) 総務委員会
- (2) 編集委員会
- (3) 学術委員会
- (4) 財務委員会
- (5) 評議員選考委員会
- (6) 渉外委員会
- (7) 倫理委員会
- (8) 利益相反委員会

- 2 各常設委員会の任務，任期，定員等は，別に定める。

第7条 この法人に，常設委員会の他，総会又は理事会の決議により必要があると認めたときは特定の事項を行わせるため特別委員会を置くことができる。

## 第6章 学術講演会，大会長等

第8条 学術大会に大会長を置く。

第9条 大会長は，理事会が推薦し，社員総会で選任する。

- 2 大会長は，当該年度の学術集会を組織し運営にあたる。
- 3 学術集会の運営等に関する規程は，別に定める。

第10条 大会長は，理事長の判断により必要な理事会に出席する。但し，議決権を持たない。

第11条 この法人は，理事会の議を経て，学術講演会，研修会，市民公開講座等を開催できることとする。

## 第7章 顧 問

第12条 この法人に，1名以上5名以内の顧問を置くことができる。

- 2 顧問は，この法人における理事長の経歴を有する者で，次の職務を行う。
  - (1) 理事長の相談に応ずること。
  - (2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること。
- 3 顧問の選任及び解職は，理事会において決議する。
- 4 顧問は，無報酬とする。

## 第8章 表 彰

第13条 この法人は，日本体力医学会学会賞等を設ける。各賞に関する事項は，学会賞選考委員会規程に定める。

## 第9章 補 則

第14条 この細則の変更は，社員総会の決議を経なければならない。

## 附 則

1. この細則は，この法人成立の日から施行する。



## 体力科学投稿規定

改訂：2022（令和4）年9月13日

### I. 投稿資格

本誌への投稿は本学会の会員・非会員を問わない。また、編集委員会が必要と認めた場合、会員・非会員を問わず投稿を依頼することができる。

### II. 掲載採否・順序

原稿の採否は、原則として2名の査読審査により編集委員会にて決定する。査読者からの意見やコメント等は2ヶ月以内に修正した論文を提出する。期限内に提出されなかった論文は不採択とする。掲載は原則として採択順とする。

### III. 原稿の種類

総説、原著、ノート、資料、事例報告（症例報告を含む）、教育講座、抄録、その他（Letter to the Editor, 議事録, 学会記事, 会報など）とし、原則として和文のみとする。

- A. オンライン投稿：投稿総説、原著、ノート、資料、事例報告（症例報告を含む）とする。
- B. 依頼総説、教育講座、地方会抄録、その他（Letter to the Editor, 議事録, 学会記事, 会報など）は、J-STAGE オンライン投稿審査システムを使用せず、以下のE-mailアドレスへ添付ファイルで投稿する。

hj-tairyoku@turui.co.jp

### IV. 原稿一般規定

ヒトおよび実験動物を対象とした研究の原著、ノート、資料および事例報告（症例報告を含む）では、当該研究施設等の倫理審査委員会あるいは動物実験委員会等の承認を受けた研究であることを「方法」に明記し、承認番号を記載するものとする。掲載された論文の著作権は日本体力医学会に帰属する。

- A. 使用ソフトウェア：下記の汎用ファイルで作成する。
  - 本文ファイル：Microsoft Office Word
  - 図表ファイル：Microsoft Office Word, Excel, PowerPoint, PDF, JPEG
- B. 用紙設定：和文、英文抄録ともに、用紙設定をA4判とし、上下左右3cmの余白を設け、左側に行番号を入れ、一段組みで10.5ポイント以上の文字でダブルスペースにて入力する。
- C. 用語：日本医学会医学用語管理委員会編「日本医学会用語辞典」英和改訂第3版（2007年出版）、和英（1994年出版）を参照する。
- D. 文体：原稿は、平かな、新かなづかい。当用漢字、外国語、外国固有名詞、化学物質名などは原語、外来語、動植物名などは片かな、数字はアラビア数字を使用する。
- E. 単位及び単位記号：原則として国際単位系（SI）に従うが、当該領域で慣用されているものはこの限りではない。
- F. 図表：説明は英文で適切な題目をつけ、それに続いて図表の内容が理解できる説明を別紙に記載する。
- G. 掲載料及び別刷料：1頁あたり5,000円の掲載料を著者が負担する。（2,400字が刷り上がり1頁に相当する）カラー頁は、1頁あたり20,000円の掲載料を著者が負担する。別刷料は著者負担とする。なお、論文掲載後に正誤表を新たに追加する際、その料金は著者負担とし、1頁につき10,000円の掲載料を負担する。地方会抄録の掲載料は原則無料とする。ただし、地方会大会事務局が認めた非会員の抄録掲載料は、1演題あたり3,000円とする。その他、学会大会および地方会大会で大会事務局が招聘した発表抄録の掲載料は原則無料とする。

H. 校正：編集委員会の決定した期日内で、校正はすべて著者の責任により行う。

I. 投稿についての問い合わせ

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1

鶴岡印刷株式会社内 「体力科学」編集事務局宛

〔電話FAX 共通 0235-22-3120〕E-mail : hj-tairyoku@turuin.co.jp

V. 投稿規定

A. 原著および総説

1. 論文は独創性に富み、未投稿の研究論文とする。1頁目には、表題、著者名、共著者名、所属機関名、所在地の各（和・英）と、別刷希望部数を明記する。また、責任著者名の右にアスタリスク（\*）を付し、責任著者のE-mailアドレスを記入する。2頁目には英文抄録とkeywords、3頁目以降に緒言、方法、結果、考察、引用文献、図の説明の順に記載する（図表の挿入位置は本文に赤で示す）。表および図は本文原稿とは別に作成する。また、表および図の中の文字および説明は、英語表記とする。
2. 原稿には英文抄録（Abstract：研究目的、方法、結果、結論などを含めて250words以内で記載）およびその和訳文を付ける。またランニングタイトルは、和文で20字以内を明記し、keywords（5語以内）を付ける。KeywordsはMedical Subject Headings（国立医学図書館：最新号）を参考にする。
3. 本文中で引用文献に言及した場合、文章の右肩か著者名の右肩に、末尾の引用文献に照応する番号を付ける。3人以上の共著の場合は“ら”“et al.”を用いる。
  - 例1：長島<sup>1)</sup>によれば……………
  - 例2：手島と角田<sup>2)</sup>によれば……………
  - 例3：馬<sup>3)</sup>によれば……………
4. 文献表の作り方
  - 1) 引用文献の記載順序は本文中の引用順に整理して、本文中の番号と照合する。文献表の著者名は“ら”、“et al.”と省略せず、全著者名を列記する。人名の記載順は姓を先にして名を後にする。本文中に引用されていない文献は、文献表に記載しない。doiの記載を推奨する。
  - 2) 雑誌から直接引用する場合
    - 番号、著者名：論文表題、掲載雑誌、巻：頁（始頁－終頁）、西暦年数の順に記す。
    - 例1：長島未央子：長時間自転車運動が鍛練者の酸化ストレス度及び血中ビタミン濃度に及ぼす影響, 体力科学, 60: 279-286, 2011. doi: 10.7600/jspfsm.60.279.
    - 例2：手島貴範, 角田直也：身長相対発育からみた男子サッカー選手の大腿部筋厚発育とボールキック能力の発達, 体力科学, 60: 195-205, 2011. doi: 10.7600/jspfsm.60.195.
    - 例3：馬 佳濠, 柴田 愛, 村岡 功：インターネットを利用する中国成人における推奨身体活動充足に関連する社会人口統計学的要因, 体力科学, 60: 185-193, 2011. doi: 10.7600/jspfsm.60.185.
  - 3) 単行本から引用する場合
    - 番号、著者または編者名、章名、書名（章名がある場合は書名をイタリック体にする）、版数（括弧に入れる）、編者名（章著者がある場合）、発行所、発行所の所在地、引用頁、西暦年数の順に記す。
    - 例：彼末一之, 中島敏博. 4. 神経機構 I - 温度求心路と体温調節「中枢」-, 脳と体温 - 暑熱・寒冷環境との戦い -, 共立出版, 東京, 72-97, 2000.
  - 4) 訳本から引用する場合
    - 著者名, (訳者名), タイトル, 出版社, 地名, ページ, 出版年の順に記す。
    - 例：アメリカスポーツ医学協会編（日本体力医学会体力科学編集委員会監訳）, 運動処方



の指針-運動負荷試験と運動プログラム-原著第8版, 南江堂, 東京, 57-108, 2011.

#### 5) 欧文の雑誌と単行本から引用する場合

例 1 : Steinberg SF. The molecular basis for distinct  $\beta$ -adrenergic receptor subtype actions in cardiomyocytes. *Circ Res* 85: 1101-1111, 1999. doi:10.1161/01.RES.85.11.1101.

例 2 : Bajotto G, Shimomura Y. Determinants of disuse-induced skeletal muscle atrophy: Exercise and nutrition countermeasures to prevent protein loss. *J Nutr Sci Vitaminol* 52: 233-247, 2006. doi:10.3177/jnsv.52.233.

例 3 : Sato S, Nomura S, Kawano F, Tanihata J, Tachiyashiki K, Imaizumi K. Effects of the  $\beta_2$ -agonist clenbuterol on  $\beta_1$ - and  $\beta_2$ -adrenoceptor mRNA expressions of rat skeletal and left ventricle muscles. *J Pharmacol Sci* 107: 393-400, 2008. doi:10.1254/jphs.08097FP.

例 4 : Shimomura Y, Murakami T, Nakai N, Nagasaki M. Exercise and metabolism in muscle cells: Molecular aspects of energy metabolism during exercise and adaptation to exercise training. *In: Exercise, Nutrition, and Environmental Stress Vol.1* (Nose H, Gisolfi CV, Imaizumi K, eds.), Cooper Publishing Group, LLC., MI, USA, 89-116, 2001.

#### B. ノート, 資料および事例報告 (症例報告を含む)

原著及び総説の投稿規定に準ずる。但し, ノートおよび事例報告 (症例報告を含む) は原則として刷り上がり 4 頁以内, 図表は 2 点までとする。

#### C. 依頼総説および教育講座

1. 依頼総説および教育講座は, 体力科学編集委員会の依頼による。

2. 原稿について

1) 依頼原稿は刷り上がり 10 頁以内を原則とする。

2) いずれの原稿も表題, 著者名, 所属などは体力科学投稿規定 V-A に準じて英文名を附す。教育講座では必ずしも英文抄録を必要としないが, 依頼総説では体力科学投稿規定 V-A に準ずる。

#### D. 地方会の抄録

原稿は, 一編 900 字以内で表題, 著者名, 所属, 本文を和文で記す。

※提出期限に遅れた場合, 本誌に掲載されない。

#### E. その他 (Letter to the Editor, 議事録, 学会記事, 会報など)

※Letter to the Editor の項では, 本誌に掲載された原著, 総説, その他の掲載内容についての質問, 疑問, コメント等を編集委員会に寄せ, それに対する回答を執筆者に求め, その内容を掲載する。質問者も回答者もすべて実名とする。

### VI. プレプリント

本誌では, 投稿前または投稿時に著者がプレプリントサーバ (JST の運営する Jxiv のみ: <https://jxiv.jst.go.jp/index.php/jxiv>) へ原稿を投稿することを認める。この方針は, 一次研究を記述した原稿の初版にのみ適用される。査読者のコメントを受けて修正された原稿, 掲載受理 (アクセプト) された原稿および本誌に掲載された原稿は, Jxiv に投稿してはならない。Jxiv に投稿した原稿を本誌へ投稿する際は, その旨を記載するとともに doi を明記する必要がある。

また, Jxiv に投稿した原稿が本誌に掲載された場合, 著者はプレプリントを更新して本誌に掲載・公開された論文へのリンクを記載する必要がある。なお, Jxiv に投稿された原稿の著作権は, 著者が保持するものとする。

なお本誌では, Jxiv などプレプリントサーバに掲載された原稿を引用文献に加えることは原則的に認めない。

## Ⅶ. 倫理・利益相反

- A. 人体ならびにヒト組織を対象とした科学研究を取り扱う論文では、その実験は1964年のヘルシンキ宣言 (<https://www.wma.net/what-we-do/medical-ethics/declaration-of-helsinki/doh-jun1964/>) とその改訂版 (<https://www.wma.net/policies-post/wma-declaration-of-helsinki-ethical-principles-for-medical-research-involving-human-subjects/>)、あるいは国が定めた生命科学・医学系研究などの関連する最新のガイドラインや法令に従って実施されなければならない。また、ヒト遺伝子を取り扱う実験は、日本政府のヒトゲノム・遺伝子解析研究 ([http://www.lifescience.mext.go.jp/bioethics/hito\\_genom.html](http://www.lifescience.mext.go.jp/bioethics/hito_genom.html)) に従ってなされなければならない。日本体力医学会編集委員会では、所属機関等の研究倫理委員会の審査を受け、承認された研究論文の投稿を受け付ける。当該研究がこれらのガイドラインや法令に従って実施されたことを投稿論文内に明記し、さらに所属機関の倫理委員会が発行した承認書の承認番号を論文中に記載するものとする。
- B. 実験動物を対象とした研究においては、国が定めた動物実験関連法規・指針を遵守して実施されなければならない。投稿論文内にはその旨を必ず明記し、所属機関の動物実験委員会等が発行した当該動物実験承認書の承認番号を論文中に記載するものとする。
- C. 総説、原著論文、それに準ずる論文を投稿する際、日本体力医学会における事業遂行に係る利益相反 (COI) に関する指針 ([http://www.jspfsm.umin.ne.jp/coi/coi\\_guideline.htm](http://www.jspfsm.umin.ne.jp/coi/coi_guideline.htm)) に基づき、該当する場合には (「自己申告による利益相反申告書」(別紙様式1)) に記入し、併せて編集事務局に提出するものとする。
- また、記載例に倣って、論文末尾にCOIに関して記載するものとする。項目が網羅されていれば簡潔にまとめて記載できるものとする。記載箇所は参考文献の前とする。

### COIに記載を求める事項

- ①当該研究者の所属企業名 (部署名, 職名)
- ②当該企業からの出資 (出資がある場合)
- ③当該研究への関係企業の関与について (研究結果の学会発表や論文発表の決定に関して関係企業が影響力の行使を可能とする契約の有無)
- ④当該研究結果に影響を与えうる企業からの労務提供としての受け入れになっていないか
- ⑤その他、利益相反として申告すべきこと

### 記載例

- ・ A (著者) は Z 社 (企業) の社員 (取締役・顧問) である。
- ・ B の配偶者は Y 社の取締役 (顧問) である。ただし、本研究の結論に Y 社の影響はない。
- ・ C は X 社から研究費を受けた。ただし、本研究の結果解釈や結論に X 社の関与はない。
- ・ D は V 社から講演料を受けた。ただし、本研究の結論に V 社の影響はない。
- ・ E は U 社の特許を有している。ただし、本研究の結果解釈や結論に U 社の関与はない。
- ・ F は T 社から会議参加の費用提供を受けた。ただし、本研究の結果解釈や結論に T 社の関与はない。
- ・ G は S 社から販促資料執筆に対して謝礼を受けた。H は R 社より労務提供を受け入れた。ただし、本研究の結論に S 社および R 社の影響はない。
- ・ I に利益相反はない。
- ・ 共著者全員が利益相反はない。

定められた利益相反状態に該当しない場合は、論文末尾に上記の最後の例、「利益相反自己申告：著者全員が利益相反はない」と記載するものとする。



## Ⅷ. 著者の資格と著者貢献

投稿に際しては、the International Committee of Medical Journal of Editors (ICMJE) の recommendations (<http://www.icmje.org/recommendations/browse/roles-and-responsibilities/defining-the-role-of-authors-and-contributors.html#two>) にしたがって、投稿原稿の研究における全ての著者の貢献（役割）を明確に説明するものとする。ICMJEでは、以下に示す4つの事項すべてを満たす者が著者であるとしており、これらの条件を満たさない研究者は謝辞に記載する。

- 1) 研究の概念化やデザインなど研究計画の立案、得られたデータの分析や解釈に十分な貢献がある。
- 2) 研究の重要な内容に関して、論文原稿の執筆あるいは推敲している。
- 3) 研究論文の発表に関して、最終的な承認を行っている。
- 4) 研究内容の正確性や完全性に関連する質問が適切に調査あるいは解決されることを保証する上で、作業のすべての側面に対して責任を負うことに同意する。

著者の役割は、最終原稿と共に印刷・公表される。したがって、当該研究における貢献を正確に反映する必要がある。

著者の役割の記載例にしたがって、投稿原稿の最後は、著者は著者全員の研究論文に対する貢献について、著者のイニシャルを使って記載するものとする。

### 記載例

- ・著者AA、著者BBと著者CCは、研究デザインとプロトコルを概念化し、研究機関を決定した。著者DDはデータ収集と組み立てを担当した。著者EEはデータの分析と解釈を担当した。草稿は著者AAが担当した。すべての著者は、原稿を批判的にレビューし、修正し、投稿を承認した。
- ・著者AAは、血液疾患および移植に関する患者データの分析ならびにその解釈を担当した。著者BBは、腎臓の組織学的検査を担当し、かつ原稿の執筆に大きな貢献をした。すべての著者は、最終原稿を熟読した上で、投稿を承認した。

附：投稿論文の種類は概ね次の基準によって分類される。

- 1) 原著：独創的研究で新しい事実と価値ある結論を有するもので、体力科学・スポーツ医学の進歩に貢献するものとする。
- 2) ノート：原著より短い、新しい事実や価値ある結論が含まれるものとする。
- 3) 資料：適切な分析法または調査法による有用な結果が含まれ、公表することにより体力科学・スポーツ医学の分野において会員の研究・実践活動に有用な情報を含むものとする。
- 4) 事例報告(症例報告を含む)：運動・スポーツ等による体力医学・スポーツ医学の立場からみた様々な効果または治療・指導効果等の事例報告。

## 論文の分類

### I 生理科学的研究

- I - 1 神経, 感覚
  - I - 1 - a 末梢神経
  - I - 1 - b 中枢神経
  - I - 1 - c 感覚
  - I - 1 - d 運動制御
- I - 2 運動器
  - I - 2 - a 筋生理
  - I - 2 - b 筋生化学
  - I - 2 - c 骨, 関節
- I - 3 呼吸, 循環
  - I - 3 - a 呼吸
  - I - 3 - b 心臓
  - I - 3 - c 末梢循環
- I - 4 血液, 免疫
  - I - 4 - a 血液
  - I - 4 - b 免疫
- I - 5 体液, 内分泌
  - I - 5 - a 体液, 汗, 尿
  - I - 5 - b 内分泌
- I - 6 代謝
  - I - 6 - a エネルギー代謝
  - I - 6 - b 糖代謝
  - I - 6 - c 蛋白代謝
  - I - 6 - d 脂質代謝
- I - 7 栄養, 消化
  - I - 7 - a 栄養
  - I - 7 - b 消化, 吸収
- I - 8 形態, 体構成
- I - 9 加齢, 性差
  - I - 9 - a 発育発達
  - I - 9 - b 老化
  - I - 9 - c 性差
- I - 10 環境
  - I - 10 - a 温湿度
  - I - 10 - b 気圧, 風圧
  - I - 10 - c 低酸素
  - I - 10 - d 高酸素

- I - 11 トレーニング
  - I - 11 - a 呼吸, 循環
  - I - 11 - b 代謝
  - I - 11 - c 筋骨格系他
  - I - 11 - d 体組成
  - I - 11 - e その他
- I - 12 生活, 健康
  - I - 12 - a 休養, 疲労
  - I - 12 - b 健康管理
  - I - 12 - c 疫学
- I - 13 バイオメカニクス
  - I - 13 - a 力学的情報
  - I - 13 - b 動作分析
  - I - 13 - c その他
- I - 14 遺伝子
  - I - 14 - a 遺伝子多型
  - I - 14 - b 遺伝子制御
  - I - 14 - c その他
- I - 15 その他

### II スポーツ医学的研究

- II - 1 スポーツと疾患
  - II - 1 - a 呼吸器疾患
  - II - 1 - b 循環器疾患
  - II - 1 - c 代謝疾患
  - II - 1 - d スポーツ外傷
  - II - 1 - e スポーツ障害
  - II - 1 - f スポーツ歯科
  - II - 1 - g その他の疾患
- II - 2 リハビリテーション, 運動療法
  - II - 2 - a リハビリテーション
  - II - 2 - b 運動療法
- II - 3 薬物, ドーピング
- II - 4 スポーツ心理学
- II - 5 その他



# *Journal of Physical Fitness and Sports Medicine*



## Instructions to Authors

<b>Aims and Scope</b>	<b>1</b>
<b>Manuscript Types</b>	<b>1</b>
<b>Journal &amp; Ethics Policies</b>	<b>2</b>
<b>Peer Review Process</b>	<b>6</b>
<b>Copyright, Open Access and Fees</b>	<b>9</b>
<b>Manuscript Submission</b>	<b>10</b>
<b>Manuscript Preparation</b>	<b>10</b>
<b>Accepted Manuscripts</b>	<b>15</b>
<b>Contact</b>	<b>15</b>

### Aims and Scope

*The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFSM)* is an Open Access, international journal that publishes peer-reviewed articles on modern physical fitness and sports medicine. The journal publishes Regular Articles, Short Communications, Case Reports, Study Profiles, Reviews, Short Reviews, Letters to the Editor, and Proceedings.

*JPFSM's* scope includes physical fitness, sports medicine, exercise physiology and metabolism, muscle biology, biomechanics, bone homeostasis, training sciences, aging and stress responses, health sciences, circadian biology, rehabilitation, and other interdisciplinary sciences.

As the official peer-reviewed journal of the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine, *JPFSM* serves an ever-growing role in the support of the physical fitness and sports medicine community, especially in Asia. The journal employs rigorous peer review of manuscripts to ensure the highest scientific, publishing and ethical standards for our broad audience of researchers, clinicians, policy makers and others physical fitness professionals.

### Manuscript Types

The journal welcomes 7 manuscript types, all of which are subject to peer review.

*Regular Articles:* Original research undertaken by the author(s) which is novel and significant. Regular Articles should be 6,500 words or less.

*Short Communications:* Original research undertaken by the author(s), which is more preliminary or has more limited outcomes, than that for Regular Articles. They must be of general or special interest. Short Communications may also contain interesting, potentially significant observations, or negative results that are of narrow scope. Short Communications should be 2,400 words or less.

*Case Reports:* Brief reports of rare examples or medical cases without precedent, but not hypothesis testing. These articles should be 2,400 words or less.

*Study Profiles:* Study Profiles describe the details of the design, rationale, methods and analyses, baseline data (if applicable), and outcomes to date (if applicable) of clinical trials or cohort studies. Study Profiles provide more information than the trial registry or the methods section of a Regular Article and aim to aid in the prevention of unnecessary duplication of research and increase transparency. Therefore, preference is given to studies with an extended follow-up or implementation periods. Study Profiles should be 6,500 words or less, and must conform to the relevant reporting guidelines listed in the EQUATOR NETWORK (<https://www.equator-network.org/>), such as the SPIRIT Statement (Standard Protocol Items: Recommendations for Interventional Trials) (<http://www.spirit-statement.org/>).

*Reviews:* Reviews present novel or unique overviews of recent or important developments in the field. Reviews must be insightful and must address the question(s) of interest using appropriate and fully presented evidence; exhaustive general summaries will not be published. Reviews are usually commissioned by the Editors, however the journal welcomes proposals of 400-800 words, which should be emailed to the Editorial Office. Reviews should be 6,500 words or less.

*Short Reviews:* Short articles that are overviews of recent research from an author's own laboratory, which should be 2,400 words or less. Short reviews are also commissioned by the Editors, however the journal welcomes proposals of 400-800 words, which should be emailed to the Editorial Office.

*Letters to the Editor:* Constructive comments and questions on regular articles, reviews, and other articles published in the journal. An opportunity will be provided for rebuttal to the authors in question. Responses from the authors, together with the names of authors and names of those submitting questions or comments, will be published. Instead of using the Editorial Manager online submission system, Letters to the Editor should be emailed to the Editorial Office as an attached PDF. ([hj-tairyoku@turuin.co.jp](mailto:hj-tairyoku@turuin.co.jp))

*Proceedings:* Short summaries of in-progress or completed primary studies that have been presented at the General Sessions of the Annual Meeting of the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine (JSPFSM), but have not yet been published in a journal. Proceedings articles (up to 1,800 characters) are published in Issue 6 of the journal each year.

## **Journal & Ethics Policies**

*JPFMS* upholds the highest standards in scholarly publishing.

Before submitting a manuscript to the journal, authors must ensure that they have read and complied with the journal's policies. The journal reserves the right to reject without review, or retract, any manuscript that the Editor-in-Chief believes may not comply with these policies.

The responsibilities of the journal's authors, editors, reviewers and publisher regarding research and publication ethics are described in full below.

Submission to the journal implies that the manuscript has not been previously published (in part or in whole, in any language), is not in press, and is not under consideration for publication elsewhere.

Authors must inform the editors if any related manuscripts are under consideration, in press or published elsewhere. The availability of a manuscript on a publicly accessible preprint server does not constitute prior publication (see ‘Preprints’).

If authors choose to submit their manuscript elsewhere before a final decision has been made on its suitability for publication in *JPFSM*, they should first withdraw it from the journal.

### **Submission**

*JPFSM* welcomes manuscript submissions from authors based anywhere in the world.

Submission of a manuscript to the journal implies that all authors: have approved it, warrant it is factual, have agreed to its submission, and have the right to publish it.

### **Originality**

Submission to the journal implies that the manuscript is original work. The journal may use Similarity Check plagiarism software (provided by Crossref and powered by iThenticate) to screen manuscripts for unoriginal content. By submitting a manuscript to the journal, authors agree to this screening. Any manuscript with an unacceptable level of unoriginal material may be rejected or retracted at the Editors’ discretion.

### **Preprints**

To support the wide dissemination of research, the journal encourages authors to post their research manuscripts on community-recognized preprint servers, either before or alongside submission to the journal. This policy applies only to the original version of a manuscript that describes primary research. Any version of a manuscript that has been revised in response to reviewers’ comments, accepted for publication or published in the journal should not be posted on a preprint server. Instead, forward links to the published manuscript may be posted on the preprint server. When submitting a manuscript which is also posted on a preprint server, authors must disclose preprint posting information (registered server and DOI).

Authors should retain copyright in their work when posting to a preprint server.

### **Secondary Publication**

A manuscript can be approved for secondary publication if it meets the conditions of the International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) recommendations, and the Editor-in-Chief acknowledges its necessity as a secondary publication. If secondary publication of a manuscript is desired, please submit to the Editorial Office a summary of the manuscript content and a reason for the necessity of secondary publication. A manuscript submitted for secondary publication will be reviewed in the same manner as other manuscripts not previously published.

### **Scoping**

When assessing the novelty of a manuscript submitted to the journal, the editors will not be influenced by other manuscripts that are posted on community-recognized preprint servers after the date of submission to *JPFSM* (or after the date of posting on a preprint server, if the manuscript is submitted to the journal within 4 months).

### **Authorship**

Submission to the journal implies that all authors have seen and approved the author list. Changes to the author list after manuscript submission – such as the insertion or removal of

author names, or a rearrangement of author order – must be approved by all authors and the editor.

The contributions of all authors must be described at submission based on the International Committee of Medical Journal of Editors (ICMJE) recommendations as follows:

- 1) Substantial contribution to the conception or design of the work, or the acquisition, analysis, or interpretation of data for the work.
- 2) Drafting the work or critically revising it for important intellectual content.
- 3) Final approval of the version to be published.
- 4) Agreement to be accountable for all aspects of the work in ensuring that questions related to the accuracy or integrity of any part of the work are appropriately investigated and resolved.

Each manuscript must contain a ‘Contributions’ section before the References section as described in the ‘Manuscript Preparation’ section below.

Authors cannot be added or deleted from the paper after peer review, nor order of authors changed, without valid reasons and the approval of the Editor-in-Chief.

### **Image integrity**

Authors may digitally manipulate or process images, but only if the adjustments are kept to a minimum, are applied to the entire image, meet community standards, and are clearly described in the manuscript. All images in a manuscript must accurately reflect the original data on which they are based. Authors must not move, remove, add or enhance individual parts of an image. The editors reserve the right to request original, unprocessed images from the authors. Failure to provide requested images may result in a manuscript being rejected or retracted.

### **Reproducing copyrighted material**

If a manuscript includes material that is not under the authors’ own copyright, the authors must obtain permission from the copyright holder(s) to reproduce it.

If a manuscript includes previously published material, the authors must obtain permission from the copyright owners and the publisher of the original work to reproduce it. The authors must cite the original work in their manuscript.

Copies of all reproduction permissions must be included with the manuscript when it is first submitted.

### **Availability of data and materials**

Authors must disclose the source of publicly available data and materials, such as public repositories or commercial manufacturers, by including accession numbers or company details in their manuscript, as appropriate.

Authors may make their own data and materials available by linking from their manuscript to relevant community-recognized public databases or digital repositories. All data sets must be made available in full to the editors and reviewers during the peer review process if requested. Authors commit to preserving their data sets for at least five years from the date of publication in the journal.

The journal encourages authors to grant reasonable requests from colleagues to share any data, materials and experimental protocols described in their manuscript.

### **Animal/human experimentation**

Authors of manuscripts describing work involving humans and/or human tissues must demonstrate that the work has been performed in accordance with the ethical standards formulated in the Helsinki Declaration of 1964, its revisions, and/or the latest version of the Ethical Guideline for Medical and Biological Research Involving Human Subjects.

Experiments describing work with the human genome should be conducted according to the Japanese Government's "Ethical Guidelines for Human Genome/ Gene Analysis Research".

Furthermore, work in relevant manuscripts must have received approval from the appropriate Institutional Ethics Committee (IEC) prior to being undertaken. The 'Materials and Methods' section must include the relevant ethics statements and specify: the study was carried out in accordance with the appropriate guidelines, and the name of the approving institutional review board or equivalent committee(s) with the approval number.

Manuscripts describing animal experiments must be conducted in accordance with the experimental animal guidelines of the institution as well as the appropriate government guidelines, such as those published by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. The 'Materials and Methods' section of relevant manuscripts must include required ethics statements and specify: the study was conducted according to the appropriate guidelines, the full name of the institutional Animal Care and Use Committee or equivalent ethics committee that approved the work, and the associated permit number(s).

### **Clinical trial registration**

The journal adheres to the International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) policy on Clinical Trials Registration, which recommends that all clinical trials are registered in a public trials registry at or before the time of first patient enrollment as a condition of consideration for publication. Manuscripts describing clinical trials must include the registration number of the trial and the name of the trial registry.

### **Reporting guidelines**

The journal requires authors to follow the EQUATOR Network's Reporting Guidelines for health research. Study types include, but are not limited to, randomized trials, observational studies, systematic reviews, case reports, qualitative research, diagnostic and prognostic studies, economic evaluations, animal pre-clinical studies and study protocols.

### **Author competing interests and conflicts of interest**

In the interests of transparency, the journal requires all authors to declare any competing or conflicts of interest in relation to their submitted manuscript. A conflict of interest exists when there are actual, perceived or potential circumstances that could influence an author's ability to conduct or report research impartially. Potential conflicts include (but are not limited to) competing commercial or financial interests, commercial affiliations, consulting roles, or ownership of stock or equity.

Authors should list all funding sources for their work in the Acknowledgements section of their manuscript.

When submitting a manuscript, authors must declare a conflict of interests (COI) in accordance with the JSPFSM [guidelines](#). In the event the guidelines are partially applicable, the relevant portion(s) should be described in the “Declaration of Conflict of Interest by Self-report.” ([Form 1](#)) and uploaded upon first submission of the manuscript.

Authors should declare any conflicts of interest after the Conflict of Interest section as described in the ‘Manuscript Preparation’ section below.

### **Confidentiality**

The journal maintains the confidentiality of all unpublished manuscripts. By submitting their manuscript to the journal, the authors warrant that they will keep all correspondence about their manuscript (from the Editorial Office, editors and reviewers) strictly confidential.

### **Self-archiving (Green Open Access) policy**

Self-archiving, also known as Green Open Access, enables authors to deposit a copy of their manuscript in an online repository. *JPFISM* encourages authors of original research manuscripts to upload their article to an institutional or public repository immediately after publication in the journal.

### **Long-term digital archiving**

J-STAGE preserves its full digital library, including *JPFISM*, with Portico in a dark archive (see <https://www.portico.org/publishers/jstage/>). In the event that the material becomes unavailable at J-STAGE, it will be released and made available by Portico.

## **Peer Review Process**

### **Editorial and peer review process**

The journal uses single-blind peer review. When a manuscript is submitted to the journal, it is screened by the Editorial Office for the basic technical requirements. It is then assigned to the Editor-in-Chief, who performs an initial screening. Manuscripts that do not fit the technical requirements, journal’s scope or are not deemed suitable for publication are rejected without review. Proceedings summaries are screened for suitability, but not sent to peer reviewers. The remaining manuscripts are assigned to an Editor who assigns two reviewers to assess each manuscript. Reviewers are selected based on their expertise, reputation and previous experience as peer reviewers. The deadline for submission of the reviewers’ reports varies by article type.

Upon receipt of the two reviewers’ reports, the Editor makes the first decision on the manuscript. If the decision is to request revision of the manuscript, authors have 2 months to resubmit their revised manuscript. Revised manuscripts submitted after this deadline may be treated as new submissions. The Editor may send revised manuscripts to peer reviewers for their feedback or may use his or her own judgement to assess how closely the authors have followed the Editor’s and the reviewers’ comments on the original manuscript.

The Editor then makes a recommendation to the Editor-in-Chief on the manuscript’s suitability for publication. The Editor-in-Chief is responsible for making the final decision.

The members of the Editorial Board act in advisory roles, providing feedback as reviewers and making suggestions to improve the journal. In cases where the Editor-in-Chief is an author on a manuscript submitted to the journal, a member of the Editorial Board is responsible for making the final decision on the manuscript’s suitability for publication in the journal. Any member of

the journal's Editorial Board, including the Editor-in-Chief who is an author on a submitted manuscript is excluded from the peer review process.

### **Reviewer selection, timing and suggestions**

Reviewers are selected without regard to geography and need not belong to the journal's Editorial Board. Reviewers are selected based on their expertise in the field, reputation, recommendation by others, and/or previous experience as peer reviewers for the journal.

Reviewers are invited within 2 weeks of an article being submitted. Reviewers are asked to submit their first review within 2 weeks of accepting the invitation to review. Reviewers who anticipate any delays should inform the Editorial Office as soon as possible.

When submitting a manuscript to the journal, authors may suggest reviewers that they would like included in or excluded from the peer review process. The Editor may consider these suggestions but is under no obligation to follow them. The selection, invitation and assignment of peer reviewers is at the Editor's sole discretion.

### **Reviewer reports**

It is the journal's policy to transmit reviewers' comments to the authors in their original form. However, the journal reserves the right to edit reviewers' comments, without consulting the reviewers, if they contain offensive language, confidential information or recommendations for publication.

### **Acceptance criteria**

If a manuscript satisfies the journal's requirements and represents a significant contribution to the published literature, the Editor may recommend acceptance for publication in the journal.

Articles in *JPFMS* must be:

- within the subject area of the journal's scope
- novel and original
- descriptions of technically rigorous research
- of high interest to the journal's audience
- important additions to the field.

If a manuscript does not meet the journal's requirements for acceptance or revision, the Editor may recommend rejection.

### **Editorial independence**

As the journal owner, the JSPFSM has granted the journal's Editorial Board complete and sole responsibility for all editorial decisions. The JSPFSM will not become involved in editorial decisions, except in cases of a fundamental breakdown of process.

Editorial decisions are based only on a manuscript's scientific merit and are kept completely separate from the journal's other interests. The authors' ability to pay any publication charges has no bearing on whether a manuscript is accepted for publication in the journal.

### **Appeals**

Authors who believe that an editorial decision has been made in error may lodge an appeal with the Editorial Office. Appeals are only considered if the authors provide detailed evidence of a

misunderstanding or mistake by a reviewer or editor. Appeals are considered carefully by the Editor-in-Chief, whose decision is final. The guidelines of the Committee on Publication Ethics (COPE) are followed where and when relevant.

### **Editor confidentiality in peer review**

The journal maintains the confidentiality of all unpublished manuscripts. Editors will not:

- disclose a reviewer's identity unless the reviewer makes a reasonable request for such disclosure
- discuss the manuscript or its contents with anyone not directly involved with the manuscript or its peer review
- use any data or information from the manuscript in their own work or publications
- use information obtained from the peer review process to provide an advantage to themselves or anyone else, or to disadvantage any individual or organization.

### **Conflicts of interest in peer review**

A conflict of interest exists when there are actual, perceived or potential circumstances that could influence an editor's or reviewer's ability to act impartially when assessing a manuscript. Such circumstances might include having a personal or professional relationship with an author, working on the same topic or in direct competition with an author, having a financial stake in the work or its publication, or having seen previous versions of the manuscript.

Members of the journal's Editorial Board undertake to avoid or declare any conflicts of interest when handling manuscripts, but it is not always possible to identify potential bias. An editor who declares a conflict of interest is unassigned from the manuscript in question and is replaced by a new editor. Reviewers are asked to declare any conflicts of interest to the Editor, who will determine the best course of action.

### **Errata and retractions**

The journal recognizes the importance of maintaining the integrity of published literature.

A published article that contains an error may be corrected through the publication of an Erratum. Errata describe errors that significantly affect the scientific integrity of a publication, the reputation of the authors, or the journal itself. Authors who wish to correct a published article should contact the editor who handled their manuscript or the Editorial Office with full details of the error(s) and their requested changes. In cases where co-authors disagree over a correction, the Editor-in-Chief may consult the Editorial Board or external peer reviewers for advice. If a Correction is published, any dissenting authors will be noted in the text.

A published article that contains invalid or unreliable results or conclusions, has been published elsewhere, or has infringed codes of conduct (covering research or publication ethics) may be retracted. Individuals who believe that a published article should be retracted are encouraged to contact the journal's Editorial Office with full details of their concerns. The Editor-in-Chief will investigate further and contact the authors of the published article for their response. In cases where co-authors disagree over a retraction, the Editor-in-Chief may consult the Editorial Board or external peer reviewers for advice. If a Retraction is published, any dissenting authors will be noted in the text.

The decision to publish Errata or Retractions is made at the sole discretion of the Editor-in-Chief.



### **Responding to potential ethical breaches**

The journal will respond to allegations of ethical breaches by following its own policies and, where possible, the guidelines of COPE.

### **Reviewer Confidentiality**

As part of their responsibilities, reviewers agree to maintain the confidentiality of unpublished manuscripts at all times. By accepting the invitation to review a manuscript, reviewers agree not to:

- disclose their role in reviewing the manuscript
- reveal their identity to any of the authors of the manuscript
- discuss the manuscript or its contents with anyone not directly involved in the review process
- involve anyone else in the review (for example, a post-doc or PhD student) without first requesting permission from the Editor
- use any data or information from the manuscript in their own work or publications
- use information obtained from the peer review process to provide an advantage to themselves or anyone else, or to disadvantage any individual or organization.

### **Copyright, Open Access and Fees**

*JPFSM* is fully Open Access and uses a Creative Commons (CC) license to publish articles, which allows users to use, reuse and build upon the material published in the journal without charge or the need to ask prior permission from the publisher or author, within the stated conditions of the license. More details on the CC license used are below.

#### **Copyright and licensing**

Authors are required to assign all copyrights in the work to the JSPFSM, who then publish the work under the Creative Commons CC BY-NC-ND 4.0 (Attribution-NonCommercial-NoDerivatives 4.0 International). This license allows users to share unmodified articles, non-commercially, as long as appropriate credit is given.

Some funding bodies require articles funded by them to be published under a specific Creative Commons license. Before submitting your work to the journal, check with the relevant funding bodies to ensure that you comply with any mandates.

#### **Page and color charges**

There are many costs associated with publishing scholarly journals, such as those of managing peer review, copy editing, typesetting and online hosting. To cover these costs in the absence of journal subscriptions, authors (or their representatives) are asked to pay page charges. There is no submission fee.

Page charges are listed in the table below (in Japanese yen, not including tax). The corresponding Author will be invoiced after publication. Invited Reviews and Short Reviews have no page charges.

Color charges are only charged if authors choose to have color figures in the print version. The Editorial Office liaises with authors as required after acceptance, and charges are listed below.

	Page Charge (yen/page)	Color figures (yen/page)
<b>Regular Article</b>	5,000	20,000
<b>Short Communication</b>	5,000	20,000
<b>Case Report</b>	5,000	20,000
<b>Study Profile</b>	5,000	20,000
<b>Review (submitted)</b>	5,000	20,000
<b>Short Review (submitted)</b>	5,000	20,000
<b>Letters to the Editor</b>	0	0
<b>Correction</b>	10,000	20,000

### Waiver policy

Waivers for page charges are provided automatically when the corresponding author is from a “Group A” Research4Life country. In cases of demonstrated financial hardship, the journal will consider a pre-submission application for a waiver from any corresponding author to [[hj-tairyoku@turui.co.jp](mailto:hj-tairyoku@turui.co.jp)]. Applications cannot be made after the peer review process has begun.

The ability of an author to pay the APC does not influence editorial decisions. To avoid any possibility of undue influence, Editors involved with the decision-making process for articles are not involved in any deliberations on waivers.

### Manuscript Submission

All manuscripts except Letters to the Editor and Proceedings articles must be submitted via the journal’s online submission system, Editorial Manager: <http://www.editorialmanager.com/jpfsm/>. The original or revised manuscript text may be uploaded as a PDF or Microsoft Word file, but a Word file is required for the final manuscript text. Figures may be submitted separately in several other formats.

Letters to the Editor must be submitted via [hj-tairyoku@turui.co.jp](mailto:hj-tairyoku@turui.co.jp) as an attached file.

Proceedings articles must be submitted through the Annual Meeting website by the submission deadline. Proceedings submission guidelines will be available at the Annual Meeting website.

If you encounter any problems with your submission, please contact the Editorial Office at the details provided in the Contact section below.

### Manuscript Preparation

#### Required Submission Form

A completed ‘[Required Submission Form](#)’ must be uploaded with the manuscript as a cover letter.

#### Style

Manuscripts should be prepared in Microsoft Word or other appropriate software, with margins of at least 3 cm. Authors should use Times New Roman 12pt font double-spaced on A4 size paper, single sided and line-numbered throughout.

### **English standards**

Only manuscripts that are written in clear and concise English will be considered for peer review. If English is not the authors' first language, the Editorial Board recommends the manuscript receives professional editing service before submitting their manuscript to the Journal. English editing and revision will be conducted on manuscripts whose English grammar, spelling, etc. is judged to be inadequate by the Editorial Board.

### **Title Page, Abstract, keywords and other**

The title page (page 1) should start with the type of manuscript (Regular Article, Short Communication, Review, etc.), the title, name(s) of the author(s), affiliation(s), mailing address(es), number of tables and figures, a brief running title (70 characters or less). The corresponding author's e-mail address should be included in the title page. An asterisk (\*) should be added to the right of the corresponding author's name.

The Abstract (page 2) should clearly express the basic content of the paper in a single paragraph and should include the problem addressed, experimental approach, main results and findings, and conclusions. Abstracts must not exceed 250 words for all article types. Avoid using specific abbreviations. If it is essential to refer to a previous publication, omit the article title (e.g. Maekawa, S., Endo, S., and Sakai, H. (2015). *Sci. Journal.*, 14: 10–15).

Three to six descriptive keywords should be included after the Abstract, listed in decreasing order of importance. The keywords must be less than 80 characters and independent of each other.

Upon acceptance of an article by the Journal, the abstract will be published on the homepage of the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine.

If a manuscript is written by authors resident in Japan Page 3 should contain the following information in Japanese: article title, author(s) names, affiliation(s), and abstract.

### **Title**

The title should describe the content of the article briefly but clearly and is important for search purposes by third-party services. Do not use the same main title with numbered minor titles, even for a series of papers by the same authors. Do not use abbreviations in the title, except those used generally in related fields.

### **Affiliations**

For the Title Page, provide full names and addresses of institutions (including laboratory, department, institute and/or university, city, state and country).

When there are two or more authors and they belong to more than one affiliation, the connection between each author and his or her affiliation should be indicated by italicized superscript <sup>1</sup>, <sup>2</sup>, <sup>3</sup>... placed after each author's name and before each affiliation. Examples can be seen in recent issues of the journal.

### **Running Title**

The running title should not exceed 50 characters, including spaces.

## Abbreviations

Each abbreviation should be defined in parentheses together with its non-abbreviated term when it first appears in the text (except in the Title and Abstract). Common abbreviations that may be used without any explanation include the list below.

AMP, ADP, ATP, cAMP, cDNA, CoA, DNA, RNA, mRNA, LD50, FAD, FMN, GMP, P450.

## Units and nomenclature

The following units should be used: length (m, cm, mm,  $\mu\text{m}$ , nm), mass (kg, g, mg,  $\mu\text{g}$ , ng, pg, mol, mmol,  $\mu\text{mol}$ , nmol), volume (l, ml,  $\mu\text{l}$ ), time (s, min, h, d), temperature ( $^{\circ}\text{C}$ , K), radiation (Bq, Ci, dpm, Gy, rad), and concentration (M, mM, mol/l, mmol/l, mg/ml,  $\mu\text{g}/\text{ml}$ , ng/ml, pg/ml, %, %(v/v), %(w/v), ppm, ppb).

Otherwise, SI or SI-derived units should be used. More information on SI units is available at the [Bureau International des Poids et Mesures \(BIPM\) website](http://www.bipm.org).

The nomenclature used for chemical compounds shall be in accordance with the relevant IUPAC rules.

## Main text

Each Original Article should comprise the following main text sections in this order: Introduction, Materials and Methods, Results and Discussion. The Results and Discussion may also be combined as Results and Discussion), Acknowledgments, References. (The Contributions and Conflicts of Interest sections should follow the main text).

Case Reports should be organized as follows: Abstract, Introduction, Case Report, Discussion, References. (The Contributions and Conflicts of Interest sections should follow the References section).

The organization of other article types is up to author preference.

## Acknowledgments

This section should be brief. Authors should list all funding sources for their work in the Acknowledgements section.

## References

References should be restricted to only those that are essential, and extensive review of the literature should be avoided. References cited in the text should be numbered (in italic) in order of appearance and listed at the end of the text. Indication of doi (digital object identifier) is encouraged.

*For references with only one author:*

Steinberg SF. 1999. The molecular basis for distinct  $\beta$ -adrenergic receptor subtype actions in cardiomyocytes. *Circ Res* 85: 1101-1111. doi: 10.1161/01.RES.85.11.1101.

*Two authors:*

Bajotto G and Shimomura Y. 2006. Determinants of disuse-induced skeletal muscle atrophy: Exercise and nutrition countermeasures to prevent protein loss. *J Nutr Sci Vitaminol* 52: 233-247. doi: 10.3177/jnsv.52.233.

*Up to twenty authors:*

Author A, Author B, Author C, Author D, Author E, Author F, Author G, Author H, Author I, Author J, Author K, Author L, Author M, Author N, Author O, Author P, Author Q, Author R, Author S and Author T. 2008. Effects of the  $\beta$ 2-agonist clenbuterol on  $\beta$ 1- and  $\beta$ 2-adrenoceptor mRNA expressions of rat skeletal and left ventricle muscles. *J Pharmacol Sci* 107: 393-400. doi: 10.1254/jphs.08097FP.

*More than twenty authors; list the first twenty followed by et al.:*

Author A, Author B, Author C, Author D, Author E, Author F, Author G, Author H, Author I, Author J, Author K, Author L, Author M, Author N, Author O, Author P, Author Q, Author R, Author S and Author T. et al. 2012. Some aspects of heat stress on the plasticity of skeletal muscle cells. *J Phys Fitness Sports Med* 1: 197-204. doi: 10.7600/jpfs.1.197.

*Citation from a book:*

Shimomura Y, Murakami T, Nakai N and Nagasaki M. 2001. Exercise and metabolism in muscle cells: Molecular aspects of energy metabolism during exercise and adaptation to exercise training. In: *Exercise, Nutrition, and Environmental Stress* (Nose H, Gisolfi CV, Imaizumi K, eds.), 1: 89-116, Cooper Publishing Group, LLC., MI, USA.

*Citation from a paper in Japanese:*

Nagashima M. 2011. Effects of endurance exercise on oxidative stress and antioxidant vitamin levels in trained cyclist. *Tairyoku Kagaku (Jpn J Phys Fitness Sports Med)* 60: 279-286 (in Japanese). doi: 10.7600/jspfs.60.279.

If more than two references with the same year and author(s) are cited, use lowercase letters after the year (Tanaka et al. 2015a, 2015b). Lowercase letters should be inserted in same-year references in the reference list

**Tables**

Number tables consecutively using Arabic numerals (Table 1, Table 2, etc.). A title should be given at the top of each table. Explanatory material and footnotes should be typed below the table and should be designated with superscript letters, such as a) or b). Units of measurement should be included with numerical values at the top of columns. Avoid detailed explanations of the experimental conditions used to obtain the data shown in tables (which should be included in other sections as relevant).

**Figures**

Figures should be of high enough resolution for direct reproduction for printing. Note that 'figures' includes line drawings and photographs, as well as charts. Magnifications of photographs should be indicated in the legends and/or by scales included in the photographs. Illustrations must be self-explanatory and they should be numbered consecutively with Arabic numerals (i.e., Fig. 1, Fig. 2, etc.). Each figure should have a short title. Figure legends should be typed together in a separate sheet(s). Figure legends should include sufficient experimental details to make the figures intelligible; however, duplicating the descriptions provided in other sections should be avoided.

Drawings prepared with the aid of software packages are acceptable as long as they are high-quality print-out ready. Drawings prepared for oral presentation are seldom suitable for use in

printed documents. All figures should be marked with the first author's name and number in the lower right corner of each sheet.

The appropriate location of each table or figure embedded in the text should be indicated in red ink in the margin of the manuscript. Duplication of data in tables and figures should be avoided. The cost of color reproduction of figures will be charged to the author(s).

### **Contributions**

A Contributions section must be included that concisely describes each author's contributions; use initials to indicate author identity. It is expected that all authors will have reviewed, discussed, and agreed to their individual contributions ahead of time. Contributions statements will be published in the final article, and they should accurately reflect contributions to the work.

If authors do not meet the ICMJE recommendations for authorship (see the 'Authorship' section), they should be acknowledged in the Acknowledgements section.

The following are some example statements.

*Example 1:* AA, BB and CC conceptualized the study design and protocol, and determined the study institutions. DD collected and assembled the data. EE carried out the analysis and interpretation of data. AA drafted the manuscript. All authors have critically reviewed, revised and approved the manuscript.

*Example 2:* Experiment conception and design: AA and BB. Experiment implementation: CC. Data analysis: DD and EE. Paper composition: AA. Analyzing and writing advisory: BB and CC. All authors approved the final version of the manuscript.

*Example 3:* Conceived and designed the study: AA. Performed the study: BB, CC, DD. Analyzed the data: FF and EE. Interpreted the data: AA and BB. Wrote the paper: AA. All authors approved the final version of the manuscript.

*Example 4:* AA analyzed and interpreted the patient data regarding hematological disease and transplants. BB performed the histological examination of the kidney, and was a major contributor in writing the manuscript. All authors read and approved the final manuscript.

### **Conflicts of Interest**

A Conflicts of Interest statement must be included in each manuscript. Background guidance is supplied in the 'Author competing interests and conflicts of interest' section above. See also the JSPFSM [guidelines](#).

Each statement must include the following elements, as relevant:

1. Name(s) of the company of authors (including the position and the department)
2. All financial support from the business that the authors work for (if the submitted research is financially supported by a business)
3. Description of funder's role in the study design, collection, analysis, and interpretation of data, writing of the paper, and/or decision to submit for publication
4. Labor supply from the business
5. Any other conflicts of interest.

Example statements are as follows:

*Example 1.* The authors have read the journal's policy and have the following conflicts: AA, BB, CC, DD, and EE are employees of XXX Corporation, who supported the present study, in part. However, the sponsor had no role in the study design, data collection and analysis, decision to publish, or preparation of the manuscript. There are no patents, products in development or marketed products to declare. The authors declare no competing interests.

*Example 2.* AA, BB, CC, and DD are employees of YYY Corporation. EE has not received any payments for a given study from YYY Corporation. The authors have declared that no competing interests exist. This does not alter the authors' adherence to the Journal of Physical Fitness and Sports Medicine's policies.

*Example 3.* In the event there are no conflicts of interest within the policies stated within this document (or as referred to elsewhere), this should be declared by writing "Conflicts of Interest: The author(s) declare that there are no conflicts of interest".

## Accepted Manuscripts

After a manuscript has been accepted, authors will require to submit the final manuscript files to Editorial Manager. Manuscripts that are accepted for publication are copyedited and typeset by the journal's production team before publication. The journal is published 6 times per year in print and online. All communication regarding accepted manuscripts is with the corresponding author.

## Proofs

Page proofs are sent to the corresponding author, who should check and return them within 7 days. Only essential corrections to typesetting errors or omissions are accepted; excessive changes are not permitted at the proofing stage.

## Reprints

Order forms for reprints are sent with the proofs to the corresponding author and should be returned with the proofs.

## Contact

To contact the Editorial Office or the Editor-in-Chief, please write to:

### Editorial Office

1-1 Doai Oyodogawa, Tsuruoka, Yamagata 997-0854, Japan  
E-mail: [hj-tairyoku@turuin.co.jp](mailto:hj-tairyoku@turuin.co.jp)

For other matters, write to:

### Business Office

4F, 5-3-13 Otsuka, Bunkyo-ku, Tokyo 112-0012, Japan  
E-mail: [jspfsm@asas-mail.jp](mailto:jspfsm@asas-mail.jp)

Updated: 28 October 2020

Updated: 1 October 2021

Updated: 22 July 2022

## Categories covered

- 1 Nervous and sensory system
- 2 Motor control
- 3 Musculoskeletal system
- 4 Respiratory and circulatory system
- 5 Hematology and immunology
- 6 Humor and endocrinology
- 7 Metabolism
- 8 Nutrition and digestion
- 9 Morphology and body composition
- 10 Aging and gender difference
- 11 Environmental physiology
- 12 Exercise training
- 13 Lifestyle and health
- 14 Biomechanics
- 15 Genes and gene regulation
- 16 Sports medicine and diseases
- 17 Rehabilitation and exercise therapy
- 18 Drug and doping
- 19 Sports psychology
- 20 Miscellaneous



## ご 案 内

### 〈各種手続方法〉

	連絡先	住所	電話番号	備考
正会員の入退会 及び住所所属変更	一般社団法人 学会支援機構 一般社団法人日本体力医学学会事務局	〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階 E-mail: jspfsm@asas-mail.jp	TEL 03(5981)6015 FAX 03(5981)6012	入会は評議員1名の推薦が必要 入会はHPより登録 <a href="http://www.jspfsm.umin.ne.jp/information/index.htm">http://www.jspfsm.umin.ne.jp/information/index.htm</a>
正会員の会費納入	〃	〃	〃	年会費 10,000円 (口座振替の登録または 所定振込用紙を使用)
購読会員の入退会 及び購読料納入	〃	〃	〃	年間 13,200円
学会誌のバック ナンバーの販売	〃	〃	〃	
賛助会員に関する業務	〃	〃	〃	
和文誌の投稿は <a href="http://www.editorialmanager.com/jspfsm/">http://www.editorialmanager.com/jspfsm/</a>	「体力科学」編集事務局	〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1 鶴岡印刷株式会社内 E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp	0235(22)3120 TEL, FAX 共通	和文誌「体力科学」 投稿規定はHP参照のこと
英文誌の投稿は <a href="http://www.editorialmanager.com/jpfsm/">http://www.editorialmanager.com/jpfsm/</a>	「JPFSM」編集事務局	〃	〃	英文誌「JPFSM」 投稿規定はHP参照のこと

### 〈地方会事務局〉

#### 【北海道地方会】

地方会代表：山口 太一 事務局長：柴田 啓介  
事務局所在地（〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地  
酪農学園大学 農食環境学群 食と健康学類 食・健康スポーツ科学研究室）  
TEL&FAX：011-388-4914  
E-mail：jspfsm-hkd@rakuno.ac.jp

#### 【東北地方会】

地方会代表：永富 良一 事務局長：門間 陽樹  
事務局所在地（〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号  
東北大学大学院医学系研究科運動学分野）  
TEL&FAX：022-717-8166  
E-mail：h-momma@med.tohoku.ac.jp

#### 【北陸地方会】

地方会代表：増田 和実 事務局長：山田 孝禎  
事務局所在地（〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 福井大学  
学術研究院 教育・人文社会系部門 教員養成領域）  
TEL：0776-27-8709  
E-mail：yamadat@u-fukui.ac.jp

#### 【関東地方会】

地方会代表：竹森 重 事務局長：山内 秀樹  
事務局所在地（〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8 東京慈恵会医科大学・分子生理学講座・体力医学研究室（担当 田口美香））  
TEL：03-5400-1200（内線2216），FAX：03-3431-3827  
E-mail：mol-phys@jikei.ac.jp

#### 【東海地方会】

地方会代表：石田 浩司 事務局長：水野 貴正  
事務局所在地（〒464-8601 愛知県名古屋市中千種区不老町E5-2(130) 名古屋大学総合保健体育科学センター）  
TEL：052-789-3959，FAX：052-789-3957  
E-mail：mizuno@htc.nagoya-u.ac.jp

#### 【近畿地方会】

地方会代表：吉川 貴仁 事務局長：吉川 貴仁  
※代表と事務局長は兼務。

事務局所在地（〒545-8585 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-4-3  
大阪公立大学大学院医学研究科運動生体医学内）  
TEL：06-6645-3790，FAX：06-6646-6067  
E-mail：gr-med-sports@omu.ac.jp

#### 【中国・四国地方会】

地方会代表：小野寺 昇 事務局長：矢野 博己  
事務局所在地（〒701-0193 岡山県倉敷市松島288 川崎医療福祉大学）  
TEL：086-462-1111，FAX：086-464-1109  
E-mail：jspfsm@mw.kawasaki-m.ac.jp

#### 【北九州地方会】

地方会代表：長野 真弓 事務局長：長野 真弓  
事務局所在地（〒813-8529 福岡県福岡市東区香住ヶ丘1-1-1  
公立大学法人福岡女子大学国際文理学部）  
TEL：092-692-3133  
E-mail：m-nagano@fwu.ac.jp

#### 【南九州地方会】

地方会代表：松本 直幸 事務局長：坂本 将基  
事務局所在地（〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40  
番1号 熊本大学大学院教育学研究科保健体育科教育講座）  
TEL：096-342-2796  
E-mail：sakamoto@educ.kumamoto-u.ac.jp

#### 〈FIMS(国際スポーツ医学会)事務局〉

FÉDÉRATION INTERNATIONALE DE MÉDECINE  
SPORTIVE (F.I.M.S.)

Secretary General of FIMS:  
Prof. Lyle J Micheli, MD, USA  
Office: Children's Hospital- 2nd floor, Division of Sports  
Medicine, 319 Longwood Avenue,  
Boston, MA 02115, UNITED STATES OF AMERICA  
Tel: +617 355 6970 Fax: +617 730 0694  
Email: michelilyle@aol.com  
Alternate Email: stacey.cobban@childrens.harvard.edu

## 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2022年9月）議事録

日時：2022年9月2日（金）午後5時30分～7時15分

場所：ZoomによるWeb会議

議長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

碓井外幸、西平賀昭各副理事長、

武政 徹常務理事、井福裕俊、太田 真、

大野 誠、栗原 敏、後藤勝正、下光輝一、

須田和裕、須永美歌子、竹森 重、

田中喜代次、中里浩一、成田和穂、前田清司、

宮内 卓、宮川俊平、和気秀文各理事、

井上 茂、清田 寛、定本朋子各監事、

松山郁夫第78回大会長、

山津幸司第78回大会事務局

欠席者：赤間高雄、小山勝弘、新開省二、永富良一、

浜岡隆文各理事、小林康孝監事、

小橋 元第77回大会長

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

#### 2. 令和4年度庶務報告に関する件について

##### （武政総務委員長）

資料に基づき、令和4年度庶務報告がなされた。

2022年7月31日現在、会員総数は3,686名（昨年度から101名減少）、評議員は506名（内医師70名、非医師436名）、賛助会員6団体、新入会員241名（昨年度から4名増加）、退会者347名（内自然退会161名）であることが報告された。また、2年以上会費未納者リストが提示され、2年以上の会費未納者については、自然退会とすることが承認された。自然退会者リストに載っている会員で、声掛けできる会員には、会費納入の催促をして欲しい旨、依頼された。

#### 3. 令和4年度会計報告に関する件について

##### （宮川財務委員長）

資料に基づき、令和4年度決算について、報告された。

収入の部：会費収入は35,753,200円（内正会員33,510,000円）であり、収入合計は73,698,570円となった。

支出の部：第76回三重大会への追加の補助金が発生したことと、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、国内外交流費、スポーツ医学研修会の中止による運営費の支出減少などにより、支出合計額は70,719,623円となった。その結果、当年度収支差額は2,978,947円の黒字決算の見込みとなった。

#### 4. 令和4年度事業報告に関する件について

##### （鈴木理事長）

資料に基づき、令和4年度事業の概要が報告された。また、各種委員会による「報告事項」と合わせて報告してもらうことにした。

#### 1) 総務委員会（武政総務委員長）

##### ◎学会大会長に関する事項

第78回大会（2024年、佐賀県開催）の大会長候補者として、松山郁夫氏（国立大学法人佐賀大学・教育学部・学校教育課程・教授）を2022年5月20日の理事会において推薦した。

#### 2) 編集委員会（後藤編集委員長）

##### (1) 学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM)」

Vol. 10のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 11のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 70のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 71のNo. 1, No. 2, No. 3

①電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施及びDOAJへのメタデータアップロード

②JPFMSM掲載論文リストのメール配信

③ジャーナルの活性化対策の検討「特集号」の掲載・企画

注目されているhot topicに焦点を当てた「特集号」を掲載

「JPFMSM」Vol. 11, No. 3

第4回特集：Physical fitness matters: epidemiology & measurement 9編掲載

「体力科学」Vol. 71, No. 3

第5回特集：骨盤底筋エクササイズを考える 5編掲載

##### (2) Preprints

①「JPFMSM」投稿規定改訂（10/1）

「体力科学」投稿規定改訂（4/1）

②「Jxiv（ジェイカイク）」オンライン説明会参加（3/17, 3/22, 7/28）

※3/24 J-STAGEプレプリントサーバ「Jxiv（ジェイカイク）」運用開始

##### (3) J-STAGE Data

①「利用申請書」提出（7/1）※8月運用開始予定

②「J-STAGE Data」オンライン説明会参加（4/20, 5/16）

##### (4) 二次出版（Secondary Publication）

「JPFMSM」投稿規定改訂及び日本語版「二次出版について」HP更新（7/22）

##### (5) その他

ホームページの「Online First」に著者版の全文PDFを登載開始（10/21）

#### 3) 学術委員会

##### (1) スポーツ医学研修会委員会

（中里スポーツ医学研修会委員長）

新型コロナウイルス感染拡大を受けて本研修会は本年（R4年）度も中止の旨2月18日理事会にて報告した。中止の決定は本学会ホームページ（2/21）および、体力科学71巻2号にて告知した。

- (2) 称号委員会（確井称号委員長）  
資料に基づき、「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」2022年度：授与・贈呈者数3名に贈呈したことが報告され、承認された。
- (3) 学会賞選考委員会（前田学会賞選考委員長）  
第35回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。また、例年の年次学会大会時に“日本体力医学会学会賞受賞論文表彰および講演”が企画されているが、今年度の第77回（栃木）大会が完全オンライン開催に変更となったため、次年度開催予定の「2023年東京シンポジウム」にて、計4回分の各受賞者の学会賞受賞論文表彰および講演を行うことが提案され、承認された。
- (4) ガイドライン検討委員会  
（宮内ガイドライン検討委員長）  
「生活習慣病の蔓延」と「高齢化の進行」が本邦で大きな社会問題となっているため、「健康寿命の延伸」を目指した活動を視野に入れたガイドラインの作成などを進めている。さらに、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も進めている。
- 4) 財務委員会（宮川財務委員長）  
令和5年度予算案の作成と令和4年度の予算の適切な執行の確認。
- 5) 利益相反委員会（須田利益相反委員長）  
情報収集に努めた。
- 6) 評議員選考委員会（大野評議員選考委員長）  
(1) 令和3年度評議員候補者19名を選定し、理事会、評議員会兼社員総会にて承認を受けた。  
（男性：19名、女性：0名）  
(2) 評議員候補者申請書の書式が簡素化されたことを周知して募集したところ、28件の申請がありWeb.会議にて審査を開始した。  
（男性：24名、女性：4名）
- 7) 渉外委員会（永富渉外委員長）  
(1) 国際交流事業  
(ア) ECSS  
①2021年9月 ECSS-JPFISM Exchange Symposium  
産業技術総合研究所 菅原順（座長・演者）徳島大学 三浦哉（演者）ARTERIAL STIFFNESS AND EXERCISE TRAINING  
②2022年9月1日 ECSS 2022 Seville JPFISM Exchange Symposium 推薦  
BENEFIT OF MATERNAL EXERCISE AND PHYSICAL ACTIVITY ON CHILDRENS HEALTH  
東北大学 永富良一（座長）東北大学 楠山譲二（演者）東海大学 松下宗洋（演者）  
(イ) 韓国運動生理学学会  
①2022年4月8日 Joint Symposium for JSPFISM and KSEP  
早稲田大学 秋本崇之（座長）早稲田大学 赤澤暢彦（演者）東北大学 門間陽樹（演者）
- (2) 国内交流事業  
(ア) 日本生理学会  
①2022年3月17日 第99回日本生理学会大会  
日本生理学会・日本体力医学会合同シンポジウム  
順天堂大学 和気秀文（オーガナイザー・座長）  
東北大学 永富良一（座長）  
演者：東北大学 門間陽樹 駿河台大学 丸藤祐子 順天堂大学 福典之 順天堂大学 山中航
- (イ) 日本医学会連合  
①2022年4月1日 日本医学会連合「フレイル・ロコモ克服のための医学会宣言」に参加
- 8) 倫理委員会（成田倫理委員長）  
大会の演題応募における倫理的手続きの検討
- 9) 広報委員会（須永広報委員長）  
学会ホームページの管理・運営
- 10) 男女共同参画推進委員会  
（須永男女共同参画推進委員長）  
(1) 男女共同参画学協会連絡会への参加  
(2) ワークショップ開催に関する検討
- 11) 全国地方会実行委員会  
（竹森全国地方会実行委員長）  
地方会の対面開催が徐々に増えている。関東地方会では甲信地区にも参加を呼び掛けて地方会を開催した。
5. 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会への加盟可否について（鈴木理事長）  
6月8日に電子メールでの審議を行い、再審議となった全国公衆衛生関連学協会連絡協議会への当学会の加盟可否について、メール審議時での賛成意見及び反対意見を考慮し、継続審議となった。
6. 令和5年度会計報告（予算）について（宮川財務委員長）  
宮川財務委員長より、資料に基づき、令和5年度の予算案について報告された。  
収入の部：現在の会員数および会費納入率実績（90%）に基づいて試算し、正会員会費は32,300,000円、会費収入全体では34,530,000円として計上した。収入額合計は61,159,100円として計上した。  
支出の部：会費自動引落としシステムの導入費用やスポーツ医学研修会が昨年同様中止となり、支出合計予算額が65,189,600円となった。当年度収支差額は△4,030,500円となる見込みである。
7. 評議員推薦に関する件（大野評議員選考委員長）  
資料に基づき、評議員選考委員会において候補者28名に対しての審査を行い、全員が評議員選考条件を満たした旨の報告があり、令和4年度の評議員候補者として28名（内、女性4名）を評議員に推薦することが承認された。
8. 第31回日本医学会総会奨励賞候補者推薦について

**(碓井学術委員長)**

5月27日にて募集を開始した、第31回日本医学会総会奨励賞候補者の推薦について、井上茂監事より、学会員の鎌田真光氏の推薦があった。理事会で審議した結果、承認された。

**9. 第31回日本医学会総会からの分科会/加盟学会展示のお願いについて(鈴木理事長)**

第31回日本医学会総会からの、分科会及び加盟学会の展示ポスター作成のお願いについて、審議の結果、当学会の展示物を出展することが承認された。また、当学会の展示ポスターについては、広報委員会が作成することとなった。

**【報告事項】****1. 各種委員会報告****1) 編集委員会(後藤編集委員長)**

資料に基づき、「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況が報告された。

1. 「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況  
＜投稿状況＞(2021年9月1日～2022年7月31日)  
「JPFMSM」誌：新規投稿55編

(内海外8編)(特集号8編含む)

※前年同期間：新規投稿52編(内海外11編)

7/31現在、審査中9編

(採択19編、不採択25編、原稿取下げ1編、採択後掲載撤回1編)

※受付不可11編(投稿規定に沿わない等で原稿返却。国内1編、海外10編)

「体力科学」誌：新規投稿47編(特集号5編含む)

※前年同期間：新規投稿44編

7/31現在、審査中9編(採択23編、不採択15編)

**＜発行予定＞**

「JPFMSM」誌

○Vol. 11, No. 5 (2022年9月25日発行)

Review 1編, Regular Article 3編+(今後の受理論文)

○Vol. 11, No. 6 (2022年11月25日発行)

学会大会抄録集

「体力科学」誌

○Vol. 71, No. 5 (2022年10月1日発行)

原著6編

○Vol. 71, No. 6 (2022年12月1日発行)

原著3編+(今後の受理論文)

2. 2022.7.1 J-STAGE Data「利用申請書」提出  
8月4日 データ登録トレーニング  
(8月中に運用開始予定, HP等で告知)

3. 2022.7.22 二次出版(Secondary Publication)  
「JPFMSM」投稿規定改訂  
日本語版「二次出版について」HP更新

**2. 日本体力医学会2023年東京シンポジウムについて(前田実行委員長)**

前田実行委員長より、日本体力医学会2023年東京シンポジウムの進捗状況が報告された。

**3. 第78回(佐賀)大会の進捗状況(松山第78回大会長)**

松山大会長と大会事務局の山津幸司氏より、大会の準備状況について報告された。

**4. その他**

- 1) 会費自動引き落としシステムについて(事務局)  
資料に基づき、会費の自動引き落としシステム導入の進捗状況の報告があった。

## 2023年度第1回日本体力医学会編集委員会議事録

日時：2022年9月29日(木) 17時30分～19時00分

開催形態：Zoomによるオンライン開催

出席者：後藤勝正(委員長),  
和気秀文, 前田清司(各副委員長),  
赤間高雄, 家光素行, 宇高潤, 大藏倫博,  
大島秀武, 大槻毅, 北川淳, 小宮山伴与志,  
小山勝弘, 小山照幸, 鈴木宏哉, 田中英登,  
中里浩一, 中田由夫, 成田和穂, 沼尾成晴,  
福典之, 松尾知明, 宮下政司, 向井直樹,  
山内秀樹, 吉川貴仁(各委員)  
(編集事務局：佐藤信之, 本間佳子, 田中加奈子)

欠席者：秋本崇之, 植原健二, 加藤晴康,  
川中健太郎, 木田哲夫, 重松良祐, 竹森重,  
十枝内厚次, 富田秀仁, 中澤公孝, 浜岡隆文,  
藤井宣晴, 藤田聡, 麓正樹, 柳谷登志雄,  
渡辺賢(各委員)(委任状12通)

### 【審議および報告事項】

#### 1. 特集号の企画について

後藤編集委員長より, 編集委員の先生方に特集号の企画案の提出をお願いしたいとの提案があり, 出席委員より2つの特集号の企画案が出された。また, 特集号の流れについて, 執筆者は本学会の会員・非会員を問わないこと, 掲載料は著者負担となること, 査読プロセスについては, 著者は編集委員の推薦または承認によって選出されていることを勘案し, 1名以上の査読委員による論文審査の過程を経て, 担当編集委員および編集委員長が最終的な判断をするとの説明がなされた。

出席委員よりスケジュールについての質問があり, 企画提出から掲載まで1年程度となり, 原稿締切は掲載の4～5か月前との説明がなされた。特集号については, 引き続き募集する。

#### 2. 編集委員の任期について

後藤編集委員長より, 編集委員の任期について, 2023年総会時までと確認されたが, 継続的な協力の依頼がなされた。

#### 3. 令和4年度活動報告

後藤編集委員長より, 令和4年度(2021年8月1日～2022年7月31日)の活動について, 学会誌出版(学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開), Preprints, J-STAGE Data, 二次出版(Secondary Publication)等が報告された。

#### 4. 「JPFMS」誌, 「体力科学」誌の投稿・掲載状況

編集事務局より, JPFMS誌・体力科学誌の投稿・掲載状況, 仮想インパクトファクターについて報告さ

れた。新規投稿については, JPFMS誌: 56編(前年比同), 体力科学誌: 49編(前年比3編増)であった。

後藤編集委員長より, J-STAGEのアクセス統計について報告された。256ヶ国中, 上位50ヶ国のアクセス合計(全文PDF, 書誌画面)でJPFMS誌・体力科学誌ともに前年に比べて減ってきている。JPFMS誌はDOAJからのアクセスも予想されるが, インパクトのある原稿の掲載を目指したいとの説明があった。

また, 後藤編集委員長より, 編集委員の担当状況について確認がなされた。スムーズな編集業務を行うため, 各委員には幅広く対応してほしいとのお願いがあった。今後, 偏りがある分野には編集委員を追加し, 分野が大幅に違う場合は可能な範囲で修正を検討したいとの説明があった。

#### 5. その他

後藤編集委員長より, 今後の掲載論文が厳しい状況で, 現在ハンドリング中の原稿があれば編集スピードを少し早めたり, 身近な同僚の先生方・学生へ投稿をお願いしたりと, 各委員へ投稿の呼びかけへの協力依頼があった。

査読者辞退について, JPFMS誌: 33名(前年61名), 体力科学誌: 26名(前年28名)であった。後藤編集委員長より, 査読の辞退者(学会員含む)が多く, 査読者の確保が困難な状況となっているため, 各委員に身近な先生方に対して査読依頼の際は, ご協力をお願いしたいとの呼びかけがあった。次回理事会でも協力依頼を呼びかける。

出席委員より, 臨床スポーツ医学会では, 本学会の評議員にあたる代議員は, 学会誌の査読を受けることを要件としている。本学会でも評議員の義務として, 学会誌の査読を受けることを要件にしてもよいのではとの意見がなされた。

また, 出席委員より査読者選定に評議員の名簿を利用できないかとの意見がなされた。2つの要望について, 鈴木理事長, 大野評議員選考委員長にお願いすることとした。

出席委員よりインパクトファクター(IF)がつく要件は?との質問がなされ, 後日回答することとした。

出席委員より, 著者からの査読者推薦について, 明らかにCOIに触れるものがあったとの報告があった。今後, 事例収集し注意喚起を促す。

後藤編集委員長より, 担当編集委員・査読の依頼の際には「担当する論文について, 利益相反の可能性がある場合は辞退してください。」などのCOIの文言を入れることをお願いがあった。

最後に, 和気副編集委員長より各委員へ, 特集号の企画の提案またはレビューの投稿に協力してほしいとの呼びかけがあった。

## 第89回日本体力医学会中国・四国地方会開催のご案内

- ・期 日：令和4年12月10日(土)、11日(日)
- ・開催形式：オンライン（Zoomミーティングによるリアルタイム開催・オンデマンド配信なし）

### ○プログラム

演題数により変更になる場合があります。

12月10日(土)：幹事会，一般発表A，特別講演A，  
一般発表B（12：00～18：00予定）

12月11日(日)：一般発表C，特別講演B，  
総会（9：00～13：00予定）

### ○参加申し込み

大会に参加を希望される方は、12月2日(金)までに次のURLより申込ください。参加申し込みをされた方に12月6日(火)までに大会オンラインアドレスをE-mailにてお送りいたします。参加申し込みをされた方で期日までに連絡がない方は事務局までお問い合わせください。

大会参加申込フォーム

<https://forms.gle/hmNWpKMX216fzfES6>

### ○学会参加費：無 料

### ○情報交換会：開催しません

### ○若手優秀発表賞

一般演題発表の中から大学等に在籍する日本体力医学会正会員の学生(学部生,大学院生)を対象に,若手優秀発表賞を選考します(若干名)。若手優秀発表賞の選考を希望する場合は,日本体力医学会の会員登録を済ませたうえで,演題を申し込んでください。

予稿集原稿の提出先,学会参加,一般発表等の問い合わせ

〒719-1197 岡山県総社市窪木111

岡山県立大学 情報工学部 人間情報工学科

大下 和茂 宛

TEL: 0866-94-2130 E-mail: oshita@ss.oka-pu.ac.jp

### ○健康運動指導士及び健康運動実践指導者の方へ

この度は,健康運動指導士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位としての申請を見送ることとなりました。どうかご了承のほどよろしく願いいたします。

### ○学会誌「体力科学」への掲載用原稿

学会誌「体力科学」への掲載用原稿は,地方会事務局がとりまとめ,学会誌編集事務局へ送付します。下記の書式に従いE-mailにて12月16日(金)(必着)までに地方会事務局の方へお送りください。なお,筆頭著者が非学会員の場合,抄録掲載料は1演題あたり3,000円となります。

掲載原稿送付先:

[jspfsm@mw.kawasaki-m.ac.jp](mailto:jspfsm@mw.kawasaki-m.ac.jp) (地方会事務局)

(提出原稿書式)

- 1) 原稿の1枚目から演題名,発表者名,所属名,本文の順にお書きください。
- 2) 900字以内になるよう作成してください(演題名,発表者名,所属名,本文を含む)。
- 3) 図表は認められません。

## 第37回日本体力医学会近畿地方会 一般演題募集のご案内

- 日時：令和5年（2023年）3月11日（土）
- 大会長：宮本忠吉（大阪産業大学）
- 会場：大阪産業大学梅田サテライトキャンパス  
（大阪市北区梅田1丁目1-3 大阪駅前第3ビル  
19階）<http://www.umed-osu.ne.jp/>
- アクセス：各線「北新地駅」「梅田駅」「西梅田駅」「東  
梅田駅」「大阪駅」より徒歩2～10分
- 開催形式：現地開催  
※新型コロナウイルス感染症等の影響により、WEB  
での誌上開催に変更する場合があります。
- シンポジウム：  
「運動・環境ストレスに対する生体の適応反応」  
（15：30～17：00予定）  
シンポジスト：伊藤 剛（大阪産業大学）、奥島 大（大  
阪国際大学）、角 大地（大阪公立大学）、  
今井大喜（大阪公立大学）
- 一般演題募集：体力・スポーツ医学に関する演題  
抄録原稿は、「抄録原稿用フォーマット」をダウンロー  
ドの上、①演題、②発表者（筆頭発表者に○印）、③所属、  
④本文（目的、方法、結果、結論の順で）の①～④を全  
てあわせて900字以内で記載して下さい。図表は認め  
ません。  
応募は、送り先のメールアドレスまで「エントリーシー  
ト」と一緒に添付してお送りください。  
・すべての演題に、午前にスライドによる short pre-  
sentation（約3分）と午後に同内容のポスター発表

（自由討論）を行っていただく予定です。

※共同発表者を含め、会員・非会員に限らず、どなた  
でも発表できます。

※学会終了後には、学会の報告として学会誌『体力科  
学』に抄録を掲載いたします。

※筆頭発表者が非会員で抄録掲載を希望される場合  
には、掲載料3,000円を、一般演題締め切り期日ま  
で下記口座までお振込みください。

■一般演題締め切り期日：2023年1月16日（月）

■学会誌掲載料振込先（筆頭発表者が非会員で、学会誌  
に抄録掲載希望の場合のみ）

大阪シティ信用金庫

店名：公立大病院出張所

口座：普通 8050099

日本体力医学会近畿地方会事務局 代表 吉川貴仁

■応募書類

・「抄録原稿」

・「エントリーシート」

（学会ホームページの近畿地方会<[http://www.jspfsm.umin.ne.jp/region/program/kinki\\_37\\_1.htm](http://www.jspfsm.umin.ne.jp/region/program/kinki_37_1.htm)>よりダ  
ウンロードしてください）

■送り先及び問い合わせ先：

大阪公立大学大学院医学研究科 運動生体医学

吉川貴仁

E-mail: [gr-med-sports@omu.ac.jp](mailto:gr-med-sports@omu.ac.jp)

FAX: 06-6646-6067

## 編 集 後 記

今年はやっと通常開催と思っていた学会大会も残念ながらオンライン開催となりました。ちょうど1年前の体力科学の編集後記でも「新型コロナの感染者が少なくなっており、重症者も減少傾向にある」と書かれており、今と同じ状況だったことが思い出されます。オンライン形式の学会も浸透してきており、移動時間や宿泊費用などが削減され、遠隔地からでも参加しやすいといったメリットもありますが、研究発表後の深い討論が難しく、現地ならではの日常会話や意見交換ができないといったデメリットもあります。この繰り返しも3年目となりますが、世界的な感染者数も減少傾向を示していることもあり、来年こそは会場での活発な議論ができることを期待しています。

COVID-19の流行が続く中、感染拡大による身体活動や体力への影響に関するエビデンスが国内外において蓄積されています。スポーツ庁から公表された2021年度の体力・運動能力調査では、体力テストの結果を点数化した合計点が、小学生から高齢者までの幅広い年齢層で、新型コロナウイルス感染拡大前の19年度と比べて低下している傾向にありました。コロナの影響の有無については、もう少し長い期間でみないと判断できないとされていますが、外出や運動機会の減少が影響した可能性があると考え、身体活動の制限により、体力はもちろんメンタ

ルヘルスなど様々な健康問題が生じているのは明らかです。すでにCOVID-19が発見されてから約3年が経過し、with/postコロナの時代の中でどのようにスポーツ・運動を実施していくかというフェーズに入っており、その知見の蓄積も待たれるところだと思います。

ご存知の通り、本学会は国体開催地で行われています。その国体も2020年の鹿児島、2021年の三重と2年連続して開催が見送られましたが、今年ようやく開催に至りました。また、夏の高校野球大会も3年ぶりに一般観客を入れての開催となるなど、少しずつ従来の様式に戻つつあります。先日開催された第77回日本体力医学会大会でも「COVID-19パンデミックの身体活動・運動への影響」というタイトルでシンポジウムが組み込まれました。身体活動の実施のみでなく、「する」「見る」「支える」というさまざまな立場からのスポーツ・運動へのCOVID-19の影響、今後の提言が発表されており、興味深く拝聴しました。

本号には第77回日本体力医学会大会の総括、原著論文6篇の他、第71巻の論文一覧と総索引が掲載されています。今後も多くの方が安心してスポーツ・運動を実施する際の支えとなる研究成果の投稿をお待ちしております。

大島 秀武

### The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.71, No.6

#### 体 力 科 学 第71巻第6号

令和4年11月25日 印刷  
令和4年12月1日 発行

編集兼発行者  
発行所

後藤 勝正  
一般社団法人日本体力医学会  
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13  
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内  
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012  
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

編集事務局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社内  
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120  
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

印刷所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社